

項目		散策路		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
1	12/9	散策路	方針をふれあい・利活用型に定めると以下の区分けになります。 1)必要なもの ・散策路の検討	【回答】 ・一部副動線（ツノ坂）を整備しますが、その他の散策路については、拡幅や舗装は行わずに、現道の維持を基本とします。
2	12/13	舗装	◆『3.3 散策路の検討』について 主動線、副動線、管理用動線のそれぞれについて、拡幅や舗装等せず原則現状のままとすることに賛成します。	
3	12/13	舗装	・舗装はせず、土留め程度の措置で良い。階段設置の代わりにもなる。	
4	12/3	通行条件	（2）道の通行条件を整理し対処していただきたい。 南管理事務所から北鎌倉女子学園上に抜ける道は、自転車やオートバイが時々通り抜けていますが、それらが通る道としては危険個所があります。 通行を容認するのであれば、北鎌倉女子学園グラウンドから円覚寺六国見展望台間は特に危険ですので整備していただきたい。 また、容認しないのであれば、構造物の設置や標識等により通行禁止を確保していただきたい。 尚、藤源治地区住民の安全安心面からは、この道は自動車通行が可能な道として整備するのが適当で、災害対応として（平時の通行を規制するのであれば）それに反対するものではありません。	【回答】 ・供用開始前に、自転車や二輪車の通行条件を整理します。 ・今後、道路管理者やボランティア団体等と協議を行い、方針を検討していきます。
5	12/13	通行条件	③園路は、従来から地域の交通路として利用されている。梶原から北鎌倉、山崎地域へ抜ける近道として使われている。そのため、一般的な緑地内の園路とは実態が異なることを考慮すべきと思われます。よって、入口に設置される案内板に、自転車乗り入れ禁止とあるのは一考を要すると感じます。一部はバイクや自動車が常時通っている区間もあるからです。	
6	12/13	通行条件	▲台峯緑地内の市道（里道）の通行について 現状では台峯緑地の敷地内には市道が通っています。台峯緑地が緑地（風致公園等）として供用されるまでは地元在住のわたしたちは生活道路の一部としてこれらを自転車やバイク（原動機付自転車等）で利用・通行してきました。 市道（里道）として台峯緑地内に残るルートすべてとは云いませんが、最低限として『3.3 散策路の検討』での区分けにある主動線と管理用動線の二つのルートについては限定的に自転車での（乗車しての）通行を認めていただきたいと考えます。イメージとしては、街中の歩道を徐行速度（凡そ10から15km/h程度）で乗車して通行するのと同様な状況を想定しています。 なお、現状では市道（里道）であるということから道水路管理課に質問したところ、（少なくとも市道である現時点では）自転車での通行（乗り入れ）を規制や禁止する法的理由や根拠はないという見解でした。 しかし現状では入口案内サインに『自転車・バイクは乗り入れないで』と記載されており、それを知る人は自粛している状況です。しかしながら前述の通り入口案内サインの位置や向きが悪いために周知が徹底できておらず、知ってか知らずか自転車やバイクで通行する人を稀ながらもいまだに散見します。云わば現状では「正直者（マナーの良い者）ほど損をしている」状況です。現状のままでは法的拘束力は無いとしても、自転車やバイクでの通行を自粛して欲しいお願いレベルになってしまうにしても、もう少し周知の努力は必要ではないでしょうか。 ちなみに参考までに、横浜市では緑地と緑地の境となる市道（里道）については自転車の通行規制は法的拘束力が無い「お願いレベル」だという見解だと、何年か前の公園管理事務所や管轄土木事務所へ質問したときに回答をいただいています。具体的な例のひとつとしては鎌倉市の天園ハイキングコースの途中の天園茶屋付近で分岐して横浜市港南台方面へ伸びる尾根筋のハイキングコース「ビートルズトレイル」は市道のために自転車での通行可能と聞いています。この尾根筋の東西両脇は市民の森等の緑地ですが、尾根筋についてはそのどちらにも属さない市道（里道）ということだからだそうです。とはいっても、速度を出して通行するのではなく、あくまでハイキングや散歩で利用している他の人たちとの共存に配慮して、原則徐行程度のゆっくりとした速度で、歩行者が居たらできるだけ一時停車して道を譲るといった利用方法での通行です。 また、すべての利用者（訪問者）で自転車やバイクでの通行を認めるのではなく、限定的に認めるというのも充分にありではないでしょうか。たとえば、市で講習を開催して受講済みの人へ腕章等を発行して認める（正月三ヶ日の「通行手形」的な制度や考えかた）、台峯谷戸保全会や北鎌倉台峯緑の会（旧 北鎌倉の景観を後世に伝える基金（略称：北鎌倉台峯トラスト））など台峯緑地の保全活動に参加する人や団体そして郵便配達や新聞配達の人等に腕章等を発行して認める、といったことが考えられます。 緑地を保全していくことはもちろん大前提としても、それを利活用する人や、周りに居住する人たちの生活道路としての意味合いもある台峯緑地ですから、保全と利活用のバランスを考えた時にはこうしたことも是非考えていただきたいと思います。	

項目		散策路		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
7	11/27	ツノ坂	・ツノ坂は地域住民にとっては重要な道となっています。同時にここの整備が行われることによって、台峯散策がより身近になると思われます。 ツノ坂の歩道脇にはフェンスがあり道幅を狭めています。この撤去を求めます。	【回答】 (ツノ坂) ・ツノ坂については、フェンス撤去、排水整備、階段設置を検討します。 ・階段の素材については、安全性、耐久性を考慮した上で、ボランティア団体と協議を行い、詳細を検討します。
8	11/30	ツノ坂	ツノ坂入り口のフェンス撤去の理由について補足します。 昨日は個人の要望でついたもので安全上の理由でつけられたものではないと聞いているとお伝えしました。それ以外にもツノ坂入口は常にぐちゃぐちゃで大変歩きづらくなっています。水の流れの手当てをすれば歩きやすくなると思われますが、湧水箇所がフェンス内にあるためにできません。またフェンス内に倒木があっても片付けることもできません。水の流れの手当てはツノ坂整備の一貫として市としてもご検討をよろしくお願いします。以上を撤去要望の理由としてお伝えします。	
9	12/3	ツノ坂	・ツノ坂の整備とフェンスの撤去を要望いたします。	
10	12/5	ツノ坂	➤ 安全に歩行できるための既存フェンスの撤去 ・上記ツノ坂の入り口にフェンスが設置されていて道幅を狭めています。この道は周辺住民が災害時に避難場所である北鎌安倉女子学園グラウンドに向かう最短経路になるので、安全かつ迅速に通行することができるよう、フェンスを撤去して道幅を広げた上での階段設置を望みます。	
11	12/9	ツノ坂	稲荷神社横の上り口のぬかるみと、金網が気になるのでそこは対処して欲しいと思います。	
12	12/10	ツノ坂	ツノ坂入口に旧私有地との境界だったフェンスがあります。これは撤去いただいた方が自然道の感覚が強調されると思います。山水（川の水源？）で常に濡れており歩きづらいので、どのようにするかは保全会や利用者の意見をお聞きいただいて対処すれば良いと思います。	
13	12/13	ツノ坂	稲荷神社の先のツノ坂のグリーンフェンスを取り除いて欲しいです。 かつては道幅も広く梶原へ抜けるメイン通路だったというツノ坂。 聞いた話だと町民に何の説明も無く、稲荷神社のフェンスを作る際に気がついたら道幅を半分にしてしまうあのフェンスが作られていたのだそうです。 あれがある為にツノ坂入口付近は狭く、山の湧き水を流す水路がフェンス内側にあって、そこの手入れが出来ず埋まっているため、段差があって歩みにくい辺りが、整備をしてもすぐドロドロぐちゃぐちゃになり、大変危険なので、利用者が減って、どんどん荒れてしまっています。 フェンスを取り除いて、内側の水路の整備を是非お願いしたいです。	

項目		階段・柵		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
1	11/27	ツノ坂 階段・柵	※階段・柵の検討について ・過度なものは控えていただきたいと思います（具体的例をお示しください）。 ・ツノ坂の整備と階段の設置を要望いたします。	【回答】 （ツノ坂） ・ツノ坂については、フェンス撤去、排水整備、階段設置を検討します。 ・階段の素材については、安全性、耐久性を考慮した上で、ボランティア団体と協議を行い、詳細を検討します。
2	12/3	ツノ坂 階段・柵	※階段・柵の検討について ・ツノ坂の整備と階段の設置を要望いたします。 ・階段に関しては、不要と思われる場所も見受けられます。設置場所の詳細・形態・素材など再検討を求めます。	
3	11/15	階段 柵	自然環境の維持と人間にとっての高い安全性は時に相反するものです。自然環境を残しつつどのような人にも快適な安全な場所を目指すというのは無理があります。 鎌倉市の緑地政策についていつも思うのはこのことで、自然豊かな環境がある種の危険を伴うものであり、そこに立ち入る人はその危険性を認識しているべきである。というのは、登山道に関する他自治体に対する訴訟でも最高裁の判例が示しているところです。山に入る以上はある程度は自己責任ということです。 都市には都市の、山には山の、安全と自己責任のバランスというものがあります。今回の基本設計案は、緑地の自然を守るというより、山を公園に作り替えるようとしているように思えてなりません。 追記すれば、手すりなどを設けた場合はその維持には当然鎌倉市が責任を負うことになります。その手すりが折れて怪我をしたとなれば100%鎌倉市の責任になります。 一方、あまり整備もされていない山道に踏み込んで怪我をした場合には、ある程度危険を想定して山に入っていると解釈され、よほどのことがないかぎり市の責任はほとんど問われません。 この計画に先立ち、細い尾根道には手すりがつきました。古道の面影を残すその道型に、あんな無粋な手すりをつけて一体何がしたいのかと訝っておりました。あそこから落ちるような人は自然のトレールに立ち入るべきではないです。すべての市民の安全を確保したいならば、その能力がない人も自然に入っていいてと錯覚させるような設備を設けるべきではありません。そのような錯覚を与えることは重大な「無責任」です。 今計画が立ち上がっている山道に、どうしても階段や手すりを設けなければならないような重大な危険箇所などありません。中途半端にプロムナード化しようとするのはやめてください。	【回答】 （階段） ・急勾配やぬかるみがあり、特に歩きにくい散策路にのみ設置を検討します。 （柵） ・破損している仮設柵がある箇所のみ新設を検討します。 ・階段・柵の素材については、安全性、耐久性を考慮した上で、ボランティア団体と協議を行い、詳細を検討します。
4	11/21	階段 柵	台峰は照葉樹が多いこともあり、勾配が急な坂では落ち葉などで滑りやすいです。確かに階段がつくことで歩きやすくなる方は多くなると思います。 柵に関しては事故についてほとんど聞かないので、個人的には絶対に必要とは思いませんが、万が一何かあったときの市の立場も理解はできるところです。個人的には現在すでに設置されている程度でおさまればよいと希望します。	
5	12/8	階段 柵	安全のための落下防止柵の保全は必要だと考えますが、市民の利用が少ない場所や、自然そのものを目的とした利用が中心の場所では、階段を含む新たな施設の導入は不要です。	
6	12/9	階段 柵	方針をふれあい・利活用型に定めると以下の区分けになります。 1) 必要なもの ・階段・柵の検討	
7	12/11	階段 柵	・9ページ 階段・柵 設置箇所は非常に多く、かなりの違和感を感じます。 設置したのち、維持管理は可能でしょうか。 高齢者・障がい者でも安心して歩けるような配慮は必要ですが、最小限とは言い難く感じます。設置箇所のさらなる絞り込みを求めます。 また、擬木での設置には反対です。 擬木の維持管理のしやすさは中期的なものであり、後世へ伝えるのが目的なら長期的な目線が必要です。 50年後のことを考えると、自然木での設置を強く求めます。また、材料としての木材（角材）ではなく、あくまで自然木が望ましいと考えます。 高齢者の方々は、「健康維持のため」に歩活しています。 せっかく山を歩くのだから、凸凹した木の幹や根を踏み締めて歩きたいと望んでいます。多少のイレギュラーな段差こそ楽しみたいのだと思います。 綺麗な階段は歩きやすいですが、筋力向上や、山歩きの醍醐味を損ねてしまう一つの要因となります。 幼児の山遊びには怪我もつきものです。転んだ時の体への衝撃は自然木のほうが軽いと考えます。 子どもは舗装道を歩くのに慣れており、自然の中を歩くと根っこの出っ張りが「歩きづらい」と言う子がいます。子どもたちには自然の中を歩く感触にも慣れて欲しいと思います。 自然木による階段設置を求めるにあたり、「近自然工法」資料を添付いたします。 先々を見据えると、簡単な施工で、コツコツ継続していける体制づくりが必要かと思います。 お目通しいただき、少しでも参考にさせていただければ幸いです。	

項目		階段・柵		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
8	12/12	階段柵	階段・柵 広場的な広がりがあるところでは子供たちが駆け回るので、人工物の階段は危険なものになりかねません。眺望広場周辺は経路を緩やかにするなどの手法で階段を設置しない方策を検討すべきと考えます。 北鎌女グランド廻りの安全柵は、子供のすり抜け落下を防ぐ仕様とすべきと考えます。	【回答】 (階段) ・急勾配やぬかるみがあり、特に歩きにくい散策路にのみ設置を検討します。 (柵) ・破損している仮設柵がある箇所のみ新設を検討します。 ・階段・柵の素材については、安全性、耐久性を考慮した上で、ボランティア団体と協議を行い、詳細を検討します。
9	12/13	階段柵	◆『3.4 階段・柵の検討』について 階段や柵については11月29日の説明会でも他の人も言及されていましたが、現状のままで特に増設は必要ないと考えます。 基本計画では階段は擬木によるものとされていますが、擬木は滑りやすく、また硬質で子供等が転倒した際にその硬さで怪我をしやすいく傾向があると考えます。 また階段は、設置するとその後の維持保全管理が必要です。降雨等による表土流出を防止あるいはその対処としての土木関係の作業が必要になります。階段を設置するだけでその後の維持保全整備を怠ったために、実質障害物競技の「ハードル」のように擬木部分のみが残った階段というのが、逗子葉山など近隣のハイキングコースでも散見されます。 以上のことから、階段は計画にあるよりも少ない数で必要最低限で良いと考えます（現状のままで階段や柵の施工無しでも構わないと考えます）。 現状のままで、大きな怪我や事故も起きずに台峯緑地はこれまで利用されてきました。安全対策としての階段や柵の設置ということであれば特に必要ないと考えます。 階段や柵よりも降雨による表土流出の対策をしっかりしたほうが、安全対策にも防災にもなると考えます。	
10	12/13	階段柵	【3.4 階段・柵の検討】 安全上、必要な場所に設置することは良いと思いますが、プラスチックの擬木製ではなく、天然木を利用したものの方が環境への配慮、安全性、この緑地の景色と合うと感じます。すでに公園化されている「山崎・台峯緑地（風致公園）」と統一性を持たせることが優先ではないと考えます。	
11	11/30	階段	プラスチック擬木の階段、階段を作って歩きやすくして下さるのは有難いけれど、まずプラスチック擬木は美しくありません。手入れは必要となりますが、子どもたちにもSDGS等の教育を熱心にされている今、環境に配慮出来ないものをわざわざ美しい自然の中に取り入れていくべきではありません。	【回答】 (階段) ・急勾配やぬかるみがあり、特に歩きにくい散策路にのみ設置を検討します。 ・階段の素材については、安全性、耐久性を考慮した上で、ボランティア団体と協議を行い、詳細を検討します。
12	12/1	階段	階段については、必要としている人がいない状況かと思います。各所根が張っていて、それを踏み台にすれば問題なく通れるところです。また、逆に今の台峯の坂を登れない方は、そもそも台峯を歩くことは非常にリスクを感じます。小さい公園ではありませんので、歩行困難になっても、誰も助けが来ない可能性があります。 もし、どうしても階段をつくるのであれば、擬木は滑り、何度も転びそうになったことがあるので、擬木は使用せず、本物の木にしてほしいです。また、通常の階段ですと土が流れる可能性が高いので、Zの字ようにジグザグに組む階段の方が地形を傷めないです。	
13	12/1	階段	階段については、近自然工法の階段作りと言うものがありますので、倒木や伐採木を活用し地元ボランティアと共に作り必要に応じて定期的に修繕することで維持できると思います。個人的に山登りをする身としては、山の斜面においては自分にあった歩幅で登り下りした方が体への負担も少なく安全であると思います。	
14	12/5	階段	➤ 安全に歩行できるための自然にとけ込むような階段設置 ・稲荷神社の石段の前の道から台峯に上る坂（通称ツノ坂）の入口が上りにくく高齢者の歩行が危険です。近くの湧水で道もぬかるんでいるため、入口付近だけでも階段設置を望みます。 ・散策路の尾根道から小高い眺望広場への上り口につきましても、簡易な数ステップの階段設置を望みます。	
15	12/5	階段	③階段に関して 自然の木をZ形に配置した方が土手面の崩れが少なくて良いと思います。ただし場所によってはそれが無理な箇所もあると思いますので、現場を確認し管理をしている人や現地に住む人などの意見を聞きながら慎重に進めて欲しいと思います。	
16	12/8	階段	・階段については、特に必要と感じず、今の階段のない方が景観も良いので、階段は不要です。 小学生時代より、自然の中で学び足もとを注意し色々な発見がありました。整備は不要です。	
17	12/9	階段	台峰緑地の近隣に住んでおります。 計画案を拝見しましたが、こちらは事前に住民や保全している方へ相談した上で作成されたのでしょうか？ 階段や電灯なども高齢者が夜に通るわけでないので整備する必要性は感じられません。 凸凹しているのも里山の良さですし、自然だと思います。 その部分に手を入れるのはいかがでしょうか。 台峰緑地を守っている住民の本当の声を聞いて、このまま計画を推し進めずに、再度計画を練り直していただくことを強く望みます。	
18	12/9	階段	【階段→不要】 特に必要と感じず現況の階段のない方が景観も良いため	

項目		階段・柵		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
19	12/9	階段	①階段設置について 添付の地図の赤丸をつけた部分のみ、必要性を感じます。 斜面が急で何度か滑ったことがあります。 ここ以外は特に階段設置の必要性を感じておりません。 ・転落防止柵を設置しま  『必要な箇所の例』 う57.7%（登山、階段の生に配慮した擬木製とし ※ 出展：建築設計資料集成 入性に配慮した擬木製と 凡例 都市計画緑地区域（8.6ha） 主入口 主入口 副入口 副入口  <td> 【回答】 （階段） ・急勾配やぬかるみがあり、特に歩きにくい散策路にのみ設置を検討します。 ・階段の素材については、安全性、耐久性を考慮した上で、ボランティア団体と協議を行い、詳細を検討します。 </td>	【回答】 （階段） ・急勾配やぬかるみがあり、特に歩きにくい散策路にのみ設置を検討します。 ・階段の素材については、安全性、耐久性を考慮した上で、ボランティア団体と協議を行い、詳細を検討します。
20	12/10	階段	・階段は不要です。今のままだが自然でいいです。	
21	12/10	階段	◎階段について 子供たちと歩いても階段については、これ以上の設置は必要と感じず、階段のない方が景観も良く、ハイキングコースとして、利用する方もいらっしゃるので、山道を歩くという観点からもこれ以上の階段は不要かと思います。 擬木の階段は整備をしないと階段の内側の土がなくなり、えぐれて、つまづきやすく歩きにくい段差になることがあるので、日々のメンテナンス考えると自然の傾斜を利用した方がいいのではないかと思います。 また、台峰緑地は昔から保全会の方々为中心となり、里山の良さを残しながら整備してくださっているところなので、安全面ばかりに配慮して、人工的にしすぎるのではなく、その土地で過ごしてきた方の思いや鎌倉の里山のいい部分を生かした景観作りをして頂きたいと思っています。 私たち親子にとっても思い出の場所ですので、ご検討の程、よろしくお願いいたします。	
22	12/10	階段	・階段…段差がある方がかえって歩きづらいです。点検やメンテナンスを考えれば必要ありません。	
23	12/11	階段	①階段工事→不必要 理由：今のままのほうが登り降りしやすい人もいる。 ●工事する費用対効果に疑問	
24	12/13	階段	擬似木階段工事については他皆さんと同様必要性を感じませんし、池の時ほどではないにしろ、その工事の間あそこに立ち入れなくなったり、その工事の為に現状あるものが無くなるのではないかと心配です。	
25	12/13	階段	階段や水飲み場等の造作物は必要ありません。水飲み場は山崎の入り口、山ノ内配水池の事務所に設置してあり、それ以上は必要としていません。台峰をほぼ全て歩き尽くしておりますが、階段も必要と感じる箇所はありません。むしろ擬木で作ったら雨の後等滑ってかえって危険になります。	
26	12/13	階段	階段においても擬木製ではなく、自然木の検討など、できる限り自然のままを維持できる内容の再考をお願いしたいです。	

項目		階段・柵		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
27	12/13	階段	要望：階段・ベンチ・水飲み場の設置を行わないで頂きたい 理由としては、第一に現状の台峰緑地において上記の内容についての必要性がないと考えるからです。これまで様々な方のお力により、台峰緑地は小さな子供から高齢な方までたくさんの人が訪れられる場所になっています。また、適切な整備のおかげもあり姿を隠していた動植物が再び蘇るなどして、自然の彩り豊かな環境になっています。このような要因もあり、今の台峰緑地に強い愛着があり変化させてほしくないというのが一番大きな理由です。第二に擬木等、人工物による施工をした場合懸念されることが二つあります。一つ目が、台峰緑地はこれまでたくさんの人が訪れていることもあり、ほとんどの道の地面がしっかりと固まっています。そのため、工事によって掘り起こすとなると足元が不安定になることが予想されます。その結果擬木によって区切られた土の部分のみが侵食によって凹み、時間が経つにつれて凹凸が激しくなり怪我等のリスクが上がってしまうことです。二つ目 が、雨の日に擬木の階段を歩くと付着した水分によってとても滑りやすくなりこれも怪我のリスクがあることです。これらの点において現状の道は、歩く場所が人によって多少差ができ圧力が分散されるため、大きな凹凸がないため歩きやすいです。 要望の全てに共通してお伝えしたいことは、上記の設置予定の三つの設備については現時点では既存の物で賄うことができており、左のことに關しての需要が見込まれないため。また、新たに人工物を自然の中に置くことは景観的にもあまり好ましくないと思います。 これからも保全会と協力しつつ台峰緑地を保全をよろしくお願いします。	【回答】 （階段） ・急勾配やぬかるみがあり、特に歩きにくい散策路にのみ設置を検討します。 ・階段の素材については、安全性、耐久性を考慮した上で、ボランティア団体と協議を行い、詳細を検討します。
28	12/13	階段	階段について ・既成の階段が必ずしも歩きやすいとは限りません。一般的な大人に合わせてつくられている階段は、小さい子どもには段が高過ぎて歩きにくい場合がほとんどです。自然にできた段は、自分のレベルに合わせて歩きやすい場所を見つけることができます。 台峰は、小さい子どもから年配の方まで、多世代が日常的に行き来する山です。各自が自分のレベルに合わせて楽しめる余地を残していただきたいです。 ・土木工事の最先端は、土中環境のことも考えた工事です。私は専門家ではありませんが、簡単にいうと、人工物で覆うことで、外気と土中の酸素の行き来ができなくなり、また、水も行き届かなくなり、土が弱っていきます。それが木を弱らせ、土砂崩れの原因となります。鎌倉の山も、山自体が年々弱っているように感じています。 階段などは部分的なことではありますが、プラスチックの擬木は水や土との融和性がないので、水の流れが一定となり土崩れの原因となります。 ・私は鎌倉生まれ鎌倉育ちで幼少期から山で遊んできました。我が子たちも山で遊び育っています。その経験から、山の中での大怪我は、ほぼ100%人工物が原因でした。土や木でのケガは、大きな怪我にはなりにくいです。自然の中にある人工物での怪我は、大怪我になります。なぜなら、本来そこにあるはずのない不自然なものだからです。 多くの子どもが遊ぶ里山では、なるべく人工物はない方が安全が保たれる面もあるということを知っていただきたいです。	
29	12/13	階段	・階段については、特に必要と感じず、今の階段のない方が景観も良いので、階段は不要です。	
30	12/1	柵	転落防護柵については、既にあるものものをそのまま使うのか新設するのかがよくわかりませんので、次回の資料では、それを記載してほしいです。 北鎌倉女学園グラウンド北側には、すでに緑色のポールがありますので、これの銅線が切れていたりするので、これを補修して、新設してほしいです。 グラウンドから北東に伸びる管理動線についてはすでに設置されており、これ以上手を加えてほしくありません。 一番南の転落防護柵は眺望広場のところでしょうか。こちらは動線ではありませんし、草刈りをしておけば、急傾斜なのはわかるので安全性に問題はなく、もしできてしまうと、著しく景観を損ねますので、絶対に作ってほしくありません。 副動線にも設置予定があり、今は柵がない状況ですが、ここは普段人が通らず、本日通った時も蜘蛛の巣が張っているような状況の道なので、不要と考えます。	【回答】 （柵） ・破損している仮設柵がある箇所にものみ新設を検討します。 ・柵の素材については、安全性、耐久性を考慮した上で、ボランティア団体と協議を行い、詳細を検討します。
31	12/3	柵	（４）手すり等は景観に配慮したものにする共に統一していただきたい。 緑地内の手すりは、擬木のものと細い角材のものがあるが、不統一は景観的に好ましくなく、鎌倉市は景観に無配慮なやつつけ仕事をしていると見做される。 景観との親和性からは擬木の方が良いので擬木に統一していただきたい。	
32	12/5	柵	賛成です。落下防止柵ぜひ必要です。	
33	12/8	柵	・柵については、既存のもので壊れている箇所（グラウンドの東側）があり、まずは補修するのが先決です。副導線については、ほとんど人が立ち入らないので不要と考えます。	
34	12/9	柵	【柵→既存の柵を補修する案に変更してほしい】 グラウンドの東側の既存の柵が壊れている箇所があり、まずは補修するのが良いと考えます。 副導線についての新規柵の設置はほとんど人が立ち入らない箇所のため不要と考えます。	

項目		階段・柵		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
35	12/9	柵	②柵や老朽化した設備等の補修のお願い ・台峯緑地の中で、既存のもので修繕が必要な設備（柵等）の洗い出し・確認と、その修繕を先行してお願いしたいです。 それらの確認・修繕の計画立案も含めて、推進計画の検討・実行をお願いします。	【回答】 （柵） ・破損している仮設柵がある箇所にもみ新設を検討します。 ・柵の素材については、安全性、耐久性を考慮した上で、ボランティア団体と協議を行い、詳細を検討します。
36	12/10	柵	・柵については、既存のもので壊れている箇所（グランドの東側）があり、まずは補修するのが先決だと思います。	
37	12/10	柵	◎柵について 転落防止の観点からは必要な箇所はあるかと思いますが、多くを柵にする必要もないかと思うので、場所を絞ってしていただけるとありがたいです。	
38	12/10	柵	・柵…既存のもので壊れている箇所を補修することが先決です。ほとんど人が立ち入らない場所は不要です。	
39	12/10	（柵）	⑤危険箇所の整備→必要 理由：安全な場所であって欲しい。何よりも必要。 ●手抜きをしないしっかりした工事してくれる会社に頼んで欲しい。 台峯は自然を守る場所として保存、安全整備をして欲しい。便利なものは魅力的ではあるが、どこまで便利な場所にする必要があるのか考えて欲しい。安全を第一に、できるだけそのままの形で残すことに価値があるのだと思います。	
40	12/13	柵	転落防止措置などは安全が第一ですから、必要かと思われます。階段の設置箇所、道の拡張箇所などもあるようですが、安全性の問題がなければできるだけそのままの状態、最小限での整備を期待します。決して利便性のために整備をしないように切にお願いいたします。計画上、階段の設置の予定のところは私もよく自転車を押して通りますが、自転車を押して上がれるぐらいですので、階段設置は不要かと思っています。利便性よりも景観を重視した、自然のままの整備をお願いいたします。	
41	12/13	柵	・最小限の転落防止設備は有った方が良い。	
42	12/13	柵	・展望台付近から谷戸の池に下る道筋は崖地に出る赤道が有ったり、方向の分かりにくい広場などあり、道標、進入防止柵などの整備が必要。	
43	12/13	柵	・柵については、既存のもので壊れている箇所(グランドの東側)があり、まずは補修するのが先決です。副導線については、ほとんど人が立ち入らないので不要と考えます。	
44	11/24	素材	入り口の擬木製の柵は大袈裟かな。あのようなプラスチックの擬〇〇があちこちにできませんよう願っております。グラ ンドキャニオンには柵のない所がたくさんあります。墓本は自己責任かと思っています。それとやるにしてもプラスチック の、擬〇〇はなるべくやめましょうね。自然にふさわしくないとはいませんか。	【回答】 ・素材については、安全性、耐久性を考慮した上で、ボランティア団体と協議を行い、詳細を検討します。

項目		サイン		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
1	12/12	サイン全般	サイン 入口案内サインは不要だと考えます。どうしても必要とするのであれば、台峯緑地で既存設置された案内板のような大掛かりなものでなく　もっと簡便なものにすべきです。 誘導サインは既設のようなシステム化されたものではなく、木板に手書きが良いと思います。 眺望広場の解説サインは不要と考えます。せっかく自然に浸りに来ているので、解説盤のような人工的なものは置かない方が良いでしょう。	【回答】 （サイン） ・主・副入口に入口案内サイン・園名サインの設置を検討します。 ・主動線からの分岐部に誘導サインの設置を検討します。 ・展望広場の解説サインについては、景観への配慮といただいた意見を考慮し、設置不要とします。 ・素材については、既存で設置されているサインと統一します。
2	12/9	サイン全般	方針をふれあい・利活用型に定めると以下の区分けになります。 1) 必要なもの ・サインの検討	【回答】 （サイン） ・主・副入口に入口案内サイン・園名サインの設置を検討します。 ・主動線からの分岐部に誘導サインの設置を検討します。 ・展望広場の解説サインについては、景観への配慮といただいた意見を考慮し、設置不要とします。
3	12/13	サイン全般	◆『3.5　サインの検討』について 『入口案内サイン』について現状の位置や向きでは、実際の台峯緑地利用者にそもそも存在を認知されていない、またその記載内容も周知できていないと感じます。具体的には、『コース外に入らないで』、『走って歩行者を追い越さないで』、『自転車・バイクは乗り入れないで』、『植物を傷つけないで・持ち帰らないで』、等が守られてないのが散見されます（なお、自転車やバイクの乗り入れ禁止については法的根拠や法的拘束力の問題があるので別途後述します）。実際にサインに記載された内容を利用者に周知および遵守してもらうならその設置場所や向き等を再考してやり直したほうが良いと考えます。 また、サインを構成する材質としては、階段や柵と同様にできれば擬木製ではなく自然木製（腐食防止剤等の塗布で延命措置はできます）にしたほうが、他でも言及しているマイクロプラスチック問題も起きる可能性が無くなり良いと考えます。 『誘導サイン』は特に賛成も反対ありません。擬木製でなく自然木製が良いと考えるのは他のサインと同様です。 『解説サイン』については『3.9　眺望広場の検討』にて詳述します。擬木製でなく自然木製が良いと考えるのは他のサインと同様です。 『園名サイン』についても特に賛成も反対ありませんが、無くても問題ないと考えます。擬木製でなく自然木製が良いと考えるのは他のサインと同様です。	【回答】 （サイン） ・主・副入口に入口案内サイン・園名サインの設置を検討します。 ・既存サインの盤面修正等については、新規サインの盤面と併せて検討します。 ・素材については、既存で設置されているサインと統一します。
4	11/27	誘導サイン 解説サイン	※サインの検討について ・保全会としてはてんだい下の看板があるところに「誘導サイン」設置を求めます。 ・「眺望サイン」は景観を損なうものであり、設置には異議を唱えます	【回答】 （サイン） ・主動線からの分岐部に誘導サインの設置を検討します。 ・展望広場の解説サインについては、景観への配慮といただいた意見を考慮し、設置不要とします。
5	12/3	誘導サイン 解説サイン	・保全会としては稲荷神社下の交差点、看板があるところに「誘導サイン」設置を求めます。 ・「眺望サイン」は景観を損なうものであり、設置には異議を唱えます。	
6	12/13	誘導サイン	・サインは大きなものは不要、分岐場所に方向指示的な道標はあったら良い。	【回答】 （サイン） ・主動線からの分岐部に誘導サインの設置を検討します。 ・素材については、既存で設置されているサインと統一します。
7	11/21	誘導サイン	意外と道に迷われる方はいらっしゃるようなので分岐の道標は必要かと思います。	【回答】 （サイン） ・主動線からの分岐部に誘導サインの設置を検討します。
8	12/1	誘導サイン	サインについては、主動線に関するサインは良いと思いますが、副動線は住宅地へとつながっているので遠方から来られる方々が迷い込まれない様に配慮お願いします。	
9	12/13	誘導サイン	・展望台付近から谷戸の池に下る道筋は崖地に出る赤道が有ったり、方向の分かりにくい広場などあり、道標、進入防止柵などの整備が必要。	
10	12/1	解説サイン	解説サイン、いりません。誰も困っていません。	【回答】 （サイン） ・展望広場の解説サインについては、景観への配慮といただいた意見を考慮し、設置不要とします。
11	12/11	解説サイン	・サインについては全般的に意見はありませんが、眺望広場に設置案の「解説サイン」が気になっています。せっかく設置するなら、おもしろいものになったらいいと思いますが、今のところいい案が浮かびません。	
12	12/13	解説サイン	【3.5　サインの検討】 いまの景観を守るために必要最低限にしてもらいたいです。眺望広場の解説サインは、個人的には必要を感じません。	

項目		ベンチ・水飲み		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
1	11/27	ベンチ 水飲み	※ベンチ・水飲み場の検討について ・ベンチの目的をお教えてください。 現時点では6か所へのベンチ設置は過剰だと考えます。 「ベンチ」に関しては設置場所の確認、各設置場所を選んだ理由及び数に対する根拠をお答えください。 ・水飲み場の設置ですが、山ノ内排水地事務所との距離感においては不要であり、さらに景観を損ねるものでもあり、必要はないと考えます。	【回答】 ・水飲みやベンチについては、景観への配慮といただいた意見を考慮し、設置不要とします。
2	12/1	ベンチ 水飲み	例にあるようなベンチは、景観を阻害します。今、眺望広場にある丸太とか、竹で作った可動できる様なベンチが良いです。金属やプラスチック製のものは景観を阻害するので、絶対にやめてほしいです。 また、普通のハイキングコースにベンチなど殆どありません。距離が長いので、休息用に何キロおきに作るというなら分かりますが、上から下まで歩いても15分程度の距離しかなく、大した眺望もない②以外の場所に作っても誰も使わないと思います。 また、水飲み場は絶対にいりません。水道のある南管理事務所から500m程度です。これを置くぐらいなら、眺望広場に南管理事務所に水道があるという看板を設置すれば済みます。眺望だけでなく設置に工事費がかかるし、作った後のメンテナンス費用も発生します。絶対にいらないです。	
3	12/9	ベンチ 水飲み	台峰緑地の近隣に住んでおります。 計画案を拝見しましたが、こちらは事前に住民や保全している方へ相談した上で作成されたのでしょうか？ 例えば「1日平均20人程度」の利用者を試算されていますが、そのために水飲み場やベンチの新設は本当に必要なのでしょうか？ 台峰緑地を守っている住民の本当の声を聞いて、このまま計画を推し進めずに、再度計画を練り直していただくことを強く望みます。	
4	12/9	ベンチ 水飲み	方針をふれあい・利活用型に定めると以下の区分けになります。 2) 不要なもの ・ベンチ・水飲みの検討	
5	12/11	ベンチ 水飲み	・13ページ ベンチ・水飲み 南北管理棟の距離と利用者数から、水飲みの設置は不要と考えます。 万一のことがあっても、対処できる距離に様々な設備をすでに整えていただいています。 ベンチについても多いと感じます。 現在も、利用者は好きなどころにレジャーシートを広げて座っています。 素材についても階段と同じで、14ページ②の写真にあるような自然木のベンチなら、嬉しいです。	
6	12/12	ベンチ 水飲み	ベンチ・水飲み ベンチについて、提案にある一般公園に設置するようなベンチは不要です。今ある丸太を利用した簡易なベンチこそ台峯に相応しいと考えます。新しく設置する場合も既存の丸太ベンチにすべきと考えます。 水飲みは、南管理事務所が近くにあるので不要と考えます。	
7	12/12	ベンチ 水飲み	眺望広場に水飲みの施設は必要ないと考えます。 またベンチも今ある自然木でのベンチが相応しいと思います。 他の場所にベンチを設置する案がありますが、散策路に広がりがあり、人が留まるスペースがあれば自然木を、危険のないように（例・転がらないようにセットする）置けば他の生物の邪魔にならず、景観的にも良いと考えます。	
8	12/13	ベンチ 水飲み	水飲み場、ベンチ工事については他皆さんと同様必要性を感じませんし、池の時ほどではないにしろ、その工事の間あそこに立ち入れなくなったり、その工事の為に現状あるものが無くなるのではないかと心配です。	
9	12/13	ベンチ 水飲み	階段や水飲み場等の造作物は必要ありません。水飲み場は山崎の入り口、山ノ内配水池の事務所に設置しており、それ以上は必要としていません。台峰をほぼ全て歩き尽くしておりますが、階段も必要と感じる箇所はありません。むしろ擬木で作ったら雨の後等滑ってかえって危険になります。 展望地のベンチも不要です。現在自然の木を使用した手作りベンチが設置しており、その方が自然で趣があります。	

項目		ベンチ・水飲み		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
10	12/13	ベンチ 水飲み	◆『3.6 ベンチ・水飲みの検討』について 前述の通り、現状のままで問題なく、必要ないと考えます。 水飲み場が無くとも、これまでの利用者は困っていません。 11月29日の説明会でも複数の人から言及がありましたが、ベンチは現状の自然木（丸太）を利用したものがあるので必要ない、また水飲み場は南公園管理事務所（山ノ内配水池入口）に水道やトイレが既に在るので必要ないの意見が多数でした。 ベンチについての詳細意見は前述したので省略します。 水飲み場について、計画では眺望広場に設置とありますが、そこに水飲み場を設置するにはそこまで水道管を埋設する等の大掛かりな工事が必要で、設置すればその後の維持管理も必要です。そもそも台峯緑地は大きな標高差があるような場所でもなく、広大な面積でもありません。また既に北部と南部に管理事務所が在り、そこには水道やトイレが既設されています。台峯緑地のような場所へ来訪する人が水筒等で飲料水等を持ってきていないのは考えにくいですし、飲料水の用意が無くどうしても眺望広場で飲みたければ、前述の南公園管理事務所（山ノ内配水池入口）まで戻れば水道がありますのでその旨を案内するサインが在れば充分と考えます（サインの検討で眺望広場に解説サイン設置計画がありましたのでそこに付記すれば良いでしょう）。	【回答】 ・水飲みやベンチについては、景観への配慮といただいた意見を考慮し、設置不要とします。
11	12/13	ベンチ 水飲み	【3.6 ベンチ・水飲みの検討】 すでに説明会でも多くの方が指摘しておられたように山ノ内配水池から徒歩5分足らずのところに水飲み施設があり、不要と考えます。これを実施するために掘削作業など行われることへの環境への影響、費用など、明らかにプラスよりもマイナスが多いと思います。 ベンチも上記「3.4 階段・柵の検討」と同じく現状ある倒木や伐採木を利用したベンチで十分ですし、環境にも景色にもなじんでおり、新たに人工的なベンチを入れる必要はないと考えます。	
12	12/13	ベンチ 水飲み	要望：階段・ベンチ・水飲み場の設置を行わないで頂きたい 理由としては、第一に現状の台峰緑地において上記の内容についての必要性がないと考えるからです。これまで様々な方のお力により、台峰緑地は小さな子供から高齢な方までたくさんの人が訪れられる場所になっています。また、適切な整備のおかげもあり姿を隠していた動植物が再び蘇るなどして、自然の彩り豊かな環境になっています。このような要因もあり、今の台峰緑地に強い愛着があり変化させてほしくないというのが一番大きな理由です。第二に擬木等、人工物による施工をした場合懸念されることが二つあります。一つ目が、台峰緑地はこれまでたくさんの人が訪れていることもあり、ほとんどの道の地面がしっかりと固まっています。そのため、工事によって掘り起こすとなると足元が不安定になることが予想されます。その結果擬木によって区切られた土の部分のみが侵食によって凹み、時間が経つにつれて凹凸が激しくなり怪我等のリスクが上がってしまうことです。二つ目 が、雨の日に擬木の階段を歩くと付着した水分によってとても滑りやすくなりこれも怪我のリスクがあることです。これらの点において現状の道は、歩く場所が人によって多少差ができ圧力が分散されるため、大きな凹凸がないため歩きやすいです。 要望の全てに共通してお伝えしたいことは、上記の設置予定の三つの設備については現時点では既存の物で賄うことができており、左のことに關しての需要が見込まれないため。また、新たに人工物を自然の中に置くことは景観的にもあまり好ましくないと思います。 これからも保全会と協力しつつ台峰緑地を保全をよろしく願います。	
13	12/13	ベンチ 水飲み	・水飲み場は、300m程度の南管理事務所にトイレや水飲み場があるので不要です。 ・ベンチは、鉄製のものとなるため、景観を損なうため不要です。	
14	12/13	ベンチ 水飲み	・水飲み場やベンチの新設は絶対にやめて欲しい。我が物顔の犬の散歩が増えるだけ。水場も犬のものになる。	
15	11/21	ベンチ	まずベンチですが、このベンチは何を目的に設置されるのでしょうか？ もし休憩を主目的にされるのであれば、山崎小側入り口から配水池側入り口まで大人の足で30分もあれば歩ける範囲に6カ所のベンチは多すぎるのではないのでしょうか？ ①に関しては今すでにクヌギ林に設置されているベンチと10メートルも離れていないと思われます。④と⑤の間も1、2分の距離です。 眺望や癒しを提供するためであるならば、眺望を確保する手入れ作業が必要です。たとえば④の位置は確かに大船側の眺望が望める場所です。しかしその北斜面は北鎌倉台峰緑地保全会が何年もかけて、市が伐採した後放置した木の片付けも含め枯れ木や立ち枯れた杉などを倒し、年に何回か草刈りを行い、ようやく多少の眺望にたどりついた場所です。それもしばらく放置すればまたすぐに木や草に覆われ眺望は期待できません。眺望箇所と位置づけるのであればその斜面手入れ作業も市が受け持ってくださいということでしょうか？ ⑤に関しては実際に休憩される方々をお見かけした時には決して道沿いでは休んでいません。数メートル中に入られたところで保全会が設置した丸太などに腰掛け、富士山が見える方向にむいて座られている方がほとんどです。道沿いに設置するということは④との位置関係含め非常に中途半端に感じます。	【回答】 ・ベンチについては、景観への配慮といただいた意見を考慮し、設置不要とします。
16	12/3	ベンチ	※ベンチの検討について ・ベンチに関しては設置場所の再検討と形態について確認します。	

項目		ベンチ・水飲み		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
17	12/5	ベンチ	②ベンチに関して 現在あるような切り倒した丸太の方が市販のベンチより趣があります。仮に丸太が腐った場合にも近くの木を利用すれば良いので環境にも優しいと思います。	【回答】 ・ベンチについては、景観への配慮といただいた意見を考慮し、設置不要とします。
18	12/8	ベンチ	・ベンチは、鉄製のものとなるため、景観を損なうため不要です。	
19	12/9	ベンチ	【ベンチ→不要】 鉄製のベンチで景観を損なうため不要と考えます。	
20	12/9	ベンチ	テーブルベンチのあたりは、草が生い茂るとつかえないし、使っている人を見かけることもありません。何故こんな所に人工物があるのかと残念に思いました。	
21	12/10	ベンチ	・ベンチは鉄製のものとなるため、景観を損なうため不要です。今のままがいいです。	
22	12/10	ベンチ	◎ベンチついて 現段階で、複数ベンチもあり、あとは自然木を利用した丸太もあり、これ以上の設置は不要かなと考えております。 また新たに設置するベンチは人工的なものとなるため、景観を損なうので、さらに多くを設置する必要はないのかなと思います。	
23	12/10	ベンチ	・ベンチ…自然木だから風景や環境に馴染んでいます。この感覚はみどり公園課にも共有して欲しいです。	
24	12/11	ベンチ	③ベンチ→不必要。 理由：台峯は公園ではないのでなるべく自然のままで残す方がより良い。ピクニックシートを持参するなどで対応できる。（ベンチは少人数の人が占領してしまうことも…）ベンチではなく、工夫した座りやすい場所があれば嬉しいです。	【回答】 ・水飲みについては、景観への配慮といただいた意見を考慮し、設置不要とします。
25	12/11	ベンチ	<反対> 鉄製ベンチ <理由> ・（反対）ベンチは、鉄製のものとなるため、景観を損なうのではないのでしょうか。 今のように丸太を切ったものではダメなのではないでしょうか。	
26	11/30	水飲み	見晴らし台には水飲み場を設置する必要性を感じません。山ノ内配水池管理所で、充分です。これはなんとかやめて頂きたいと願います。	
27	12/1	水飲み	水飲み場については、必要性は感じませんが北鎌倉女子学園入口から北鎌倉女子学園グラウンドまでの間で水道管の工事が最小限になる場所を検討してみたいかがでしょうか。	
28	12/5	水飲み	①水飲み場に関して 設置予定場所は水道がある山ノ内配水池からも近く、水道工事にかかる費用や将来的な管理を考えると全く必要ないと思います。	
29	12/8	水飲み	・水飲み場は、300m程度の南管理事務所にトイレや水飲み場があるので不要です。 今まで水飲み場が必要と感じた事は1度もありません。	
30	12/9	水飲み	【水飲み場→不要】 300m程度の南管理事務所にトイレや水飲み場があり重複する施設と考えますので不要と考えます。	
31	12/9	水飲み	水飲み場にしても今は自分で飲み物を持ち歩くのが普通で何もかも用意するのは税金の無駄遣いに感じました。	
32	12/9	水飲み	②水飲み場の設置について 台峯の一見手付かずに見える自然を、これからも大切にしていきたいと思います。 飲み物は水筒を持参すれば事足りますし、山ノ内配水池入り口で水を補給することは可能です。 新しく設置するものは必要最低限で十分です。 水飲み場は設置の必要はないと考えます。	
33	12/10	水飲み	◎水飲み場について 見晴らし台から、300m程度の南管理事務所にトイレや水道があるので不要かと思います。 また、公園などの水飲み場で、子供たちが水遊びをして辺りが水浸しになる光景などがよくあります。 見晴らし台は、ゆっくりと景色を楽しむ場かと思います。 水飲み場を設置することにより、せっかくの見晴らし台が水浸しになったり、水飲み場に人の出入りが多いと落ち着かなく、景観が損なわれることが考えられます。 水場については、わざわざ設置せず管理棟を案内すれば十分ではないかと思われます。	
34	12/10	水飲み	・水飲み…そもそも現代人は水道水を飲みません。特に外の水は。時代錯誤で全くムダです。	
35	12/11	水飲み	②水飲み場作り→不必要 理由：水筒持参、お手拭き持参を当たり前にする。 ●工事する費用対効果に疑問	
36	12/13	水飲み	コロナ以降、衛生面を気にされる方が増えた中、水飲み場を活用する人そのものが減ってきているのではないのでしょうか。	

項目		公園灯		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
1	11/21	公園灯	こちらの公園灯については、北鎌倉女学園の生徒さんたちの安全のためと、グラウンドが震災時の避難所になっているとのお話をみどり公園課水谷さんよりお聞きしました。 まず生徒さんたちに関してですが、生徒さんたちの安全を大切にするにはまったく異論はありません。しかし普段何時頃までグラウンドは使用されているか、調査聞き取りはされましたでしょうか？陽があるうちのみ使用されているのであれば不必要ということになります。そもそもグラウンド自体に照明が一つもないのに陽が暮れてからの部活は無理なのではないでしょうか？その点についてのご確認をお願いします。 また震災時は停電することが容易に想像されます。避難のためということであれば停電時の対策も考えられた公園灯でなければ意味がないと思われます。 税金が投入される工事です。目的がある設置であるならその目的にかなった計画であるかしつかりと検証をお願いします。両者合わせて有効な設罹でなければ不必要ということになります。ご確認ください。	【回答】 ・公園灯については、生態系への配慮といただいた意見を考慮し、設置不要とします。
2	11/27	公園灯	※公園灯の検討について ・「北鎌倉女学院の生徒さんの安全」及び「震災時の避難場所」のための設置とのことのようにですが、現時点では必要はないと考えます。グラウンド自体に照明がないため、陽が暮れてからの生徒さんの活動は考えにくいかと思います。 設置の具体的な根拠と有事の場合停電などを想定したうえでの対策をお答えください。	
3	11/30	公園灯	公園灯設置について、本当に必要でしょうか？台峯は毎日のように行きますが、困ることはありません。暗くなれば山には入らないようにするのは子ども達でも理解しています。	
4	12/1	公園灯	電灯もいらないです。女学園の多寡が強く要望されているならまだしも、作りましょうか？といったら、作ってほしいというに決まっています。グラウンドに照明がないのに作ったら、常識的におかしいです。 防災用に蓄電池付きのものも検討したいとおっしゃっていましたが、このご時世、皆さんスマホを持っていますので、暗ければスマホのライトを使って行動しますので、わざわざ維持費のかかる蓄電池付きのライトなど、不要です。 仮に電灯をつけたとしてもグラウンドが真っ暗のままになりますので、そことの整合性もよくわかりません。避難した際は暗闇の中で過ごしてください、ということでしょうか。 もし、照明がついた場合、夜間に眺望広場等によからぬ人が立ち入り、治安も悪くなる可能性もあります。また、生態系にも影響があります。どうしてもつけるということであれば暗闇になってから1時間程度点灯するぐらいにしていいただければと思います。	
5	12/1	公園灯	公園灯については、個人的に夜間帯にその区間を歩くことがありますが、そもそも人が通ることが想定できません。緊急の場合であってもスマホのライトで事足りるのではないかと思います。	
6	12/3	公園灯	※公園灯の検討について ・「北鎌倉女学院の生徒さんの安全」及び「震災時の広域避難場所」のための設置。 この2項目に対する根拠を明確にしていきたい。 さらに、生態系への影響に対する考えをお聞きしたい。 これらを確認できないのであれば反対いたします。	
7	12/3	公園灯	（3）自然との共存が基本、人的対処は最小限にしていきたい。 説明会では防犯灯の設置やベンチの設置等のお話があったようですが、北鎌倉女子学園グラウンド往来道については、数年前に森の入口に町内会が防犯灯を設置しました。 この時に学園にも相談しましたがグラウンドまでの道に防犯灯を設置するという考えはありませんでした。 夜に不特定多数の人が通る訳でもなく利用者が懐中電気を持って行動すれば済む話です。	
8	12/5	公園灯	④公園灯に関して 基本設計案の中には「広域避難所」である「グラウンド」が含まれておりますので、避難の必要に応じた灯りは必要だと思います。ただし「広域避難所」の意味を誤解されている方への丁寧な説明、災害発生時に「グラウンド」のカギは誰があけるのか？など「総合防災課」「北鎌倉女学校」「地元町内会」との連携体制の構築のほうが先だと思います。	
9	12/8	公園灯	・電灯は、大火事の際の広域避難場所（女学園グラウンド）への避難用とのことですが、ほとんどの人がスマホを持っており、スマホライトで十分です。 ・野生動物は夜行性が多く、影響が心配です。 先日は近くでフクロウも見かけました。電灯による、自然への影響が心配です。また、夜間に逆に不審な行動（不法投棄など）の影響、などが出ると考えられます。	

項目		公園灯		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
10	12/9	公園灯	台峰緑地の近隣に住んでおります。 計画案を拝見しましたが、こちらは事前に住民や保全している方へ相談した上で作成されたのでしょうか？ 階段や電灯なども高齢者が夜に通るわけでないので整備する必要性は感じられません。 凸凹しているのも里山の良さですし、自然だと思います。 その部分に手を入れるのはいかがでしょうか。 台峰緑地を守っている住民の本当の声を聞いて、このまま計画を推し進めずに、再度計画を練り直していただくことを強く望みます。	【回答】 ・公園灯については、生態系への配慮といただいた意見を考慮し、設置不要とします。
11	12/9	公園灯	【電灯→不要】 大火事の際の広域避難場所（女学園グラウンド）への避難用とのことですが、ほとんどの方がスマホを持っており、非常時はスマホライトで電灯の役割を果たと考えます。 また野生動物は夜行性が多いため安易な電灯設置により環境影響が考えられ設置に反対いたします。	
12	12/9	公園灯	電灯も、真っ暗なら怖くて入らないけれど、電灯があれば夜でも入りやすく、かえって治安が気になりました。	
13	12/9	公園灯	方針をふれあい・利活用型に定めると以下の区分けになります。 2) 不要なもの ・公園灯の検討	
14	12/9	公園灯	④北鎌倉女子学園グラウンド付近の外灯ですが、学生の皆さんは、外灯が必要になるほど暗い時間帯にグラウンド付近は通られないかと思います。災害時の避難場所であるグラウンドへの灯りとして必要としても、毎日夜間灯りが必要とは思えません。貴重な野生生物の生態への影響が出る可能性を感じますので、取付には慎重にお考えいただきたいです。	
15	12/10	公園灯	・電灯は不要だと思います。 電灯をつけることにより野生動物にも影響が出ると思います。	
16	12/10	公園灯	・公園灯…夜に台峰を通る人は殆どいません。誰が必要としているのでしょうか？スマホライトで済みます。	
17	12/11	公園灯	・15ページ 公園灯 森に灯がつくと、敏感な動物たちの生活に異変が起こりそうで怖いです。 森と街の境目を勘違いした動物たちが、住宅街に現れるのを恐れます。 人も、動物も、お互いがお互いを恐れる関係にはなりたくないです。 都市緑地といえども、麓で人が生活できるのは、緑地で動物が生活するおかげであって、お互いの住み家を侵してはならないと思います。 防災拠点への導線、という理由であればその前に、グラウンド自体の防災拠点としての設備内容を教えていただきたく思います。 北鎌倉女子学園の生徒の移動に配慮する理由であれば、学校の意見要望をある程度開示していただいたの案を拝見したく思います。	
18	12/11	公園灯	④電灯：不必要 理由：夜は入る人はいない。入る可能性をつくってほしくない。もし必要な懐中電灯持参する。自然に反する。 ●工事する費用対効果に疑問	
19	12/11	公園灯	<反対> 電灯 <理由> ・（反対）電灯は、大火事の際の広域避難場所(女学園グラウンド)への避難用とのことですが、そもそも大火事の時に林の中に逃げるのが良いことか分かりません。 また、野生動物は夜行性が多いこと、木の生育に影響することから、賛成できかねる次第です。 さらには、地震や家事の際は停電となって電灯は機能しないことも考えると、理屈上は成立しないような気がしました。	
20	12/12	公園灯	公園灯 北鎌女入口からグラウンドまで設置計画は不要と考えます。人工の光は自然に対して優しくありません。暗くなって歩く人は懐中電灯を携行するのではないのでしょうか。	
21	12/12	公園灯	○北鎌倉女子学園のグラウンドへ向かう散策路沿いに公園灯を設置すべきではない。 現にグラウンドには明かりが設置されていないので、暗くなってからの利用は想定していないものと考えます。 動植物にとっては自然ではない光は不必要であるばかりでなく、その生態系を乱すものとなります。 緑地公園内では人間よりも人間以外の生物の生活を優先させたいと考えます。 そうすれば、都市部、住宅街など人間優先地区では暮らせない動植物などが生き活きと暮らせると思います。	

項目		公園灯		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
22	12/13	公園灯	街灯工事については他皆さんと同様必要性を感じませんし、池の時ほどではないにしろ、その工事の間あそこに立ち入れなくなったり、その工事の為に現状あるものが無くなるのではないかと心配です。	【回答】 ・公園灯については、生態系への配慮といただいた意見を考慮し、設置不要とします。
23	12/13	公園灯	◆『3.7 公園灯の検討』について 現状のままで問題なく、必要ないと考えます。 もし公園灯を設置した場合には、「光害」による野生生物（動植物とも）への悪影響が懸念され、基本理念の『山崎・台峯緑地の優れた自然環境を守り後世に伝える』に反する結果が起きる可能性が高いと考えます。 11月29日の説明会では公園灯の設置理由のひとつとして、台峯緑地内に在る北鎌倉女子学園グラウンドまで通行する学生等の防犯対策が述べられていましたが、実際に北鎌倉女子学園の学生がどの程度の頻度（一日あたりの通行人数や回数や時間帯等）で通行するのでしょうか？ また、公園灯を検討している区間は「里道（市道）」です。鎌倉市の「路線位置マップ（かまくらわが街マップ）で確認すると「市道046-103号線」でした。みどり公園課だけで進めるのではなく道導水路管理課など他の部署との連携も必要なのではないでしょうか。	
24	12/13	公園灯	・照明は散策者にとって光害。私も生活路として使うが、夕刻以降はヘッドランプ等の携行が必要なことを周知徹底することで対応して欲しい。	
25	12/13	公園灯	【3.7 公園灯の検討】 こちらで説明会で多くの意見が出たように、夜行性野生生物の保護の観点から不要と考えます。	
26	12/13	公園灯	②グラウンド付近は夜間の人通りが少ないので、外灯の必要性は無いと思います。 また、LEDの光がホタルなどの昆虫に悪影響を与えることが知られています。 やむを得ず設置するなら、白色光より、電球の色に近い、赤や黄色光のタイプが望ましいと考えます（ホタルの幼虫の実験でデータがあります。）	
27	12/13	公園灯	照明について ・防災上、必要であることの根拠をはっきり示していただきたいです。 ・鎌倉は、フクロウの生息地です。台の我が家の外でも電柱に止まっている姿を見たことがあります。それが、LED電灯になってからめっきり見かけなくなりました。人間のための人工的な光が、野生動物に与える影響をきちんと調べてから設置を検討してください。	
28	12/13	公園灯	・電灯は、大火事の際の広域避難場所(女学園グラウンド)への避難用とのことですが、ほとんどの人がスマホを持っており、スマホライトで十分です。 ・野生動物は夜行性が多く、影響が心配です。	

項目		サクラ類の保存		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
1	11/21	植物全般	現在あるサクラの中にはテングス病がみられたり、数年前の台風で倒れたようにかなり古木もみられます。保存するからには手入れ作業が必須です。 またキンランやニッキのように他地域も含め貴重だと思われるものや、イイギリやシモツケなど台峰においては数少ない樹木もあります。サクラ以外の生態系にも注意を払っていただきたいです。	【回答】 ・他の樹木やサクラ類を含む保全や維持管理の手法については、過去の植生調査等の結果を踏まえ、ボランティア団体と協議しながら対応を検討します。
2	11/27	植物全般	※サクラ類の保存の検討について ・「サクラ」以外他の植生にはどのような方策を考えているのか、保存対象となり得る植物があるのかも含め具体的にお答えください。	
3	12/1	植物全般	桜にしか焦点を当てていないというのがよく分かりません。桜の開花はほんの一時で、台峯全体の草木を把握したうえで、どう整備するか検討すべきかと思います。	
4	12/3	植物全般	・危険木や古木等に対する「対処」が範疇ようですが「後世に伝える」のであれば、対応方法が違ってくると思います。早急なる対策を期待します。	
5	12/9	植物全般	4. 森林の再生 サクラ類の保存については検討事項になっていますが、現在の森林の状態は非常に厳しく危機的状況だと思います。一言で言って日頃の手入れが全く行き届いていない状態です。現在の状況は下記のように思いますので森林自体の再生に取り組んでいただきたいと思います。 ・枯れ木が多い ・かかり木がある ・倒木がある ・弱って葉が付かない枝が多い ・老木が多く、若い10年20年という木が少ない ・てんぐ巣病、ナラ枯れ病が多い	
6	12/13	植物全般	グランドから見晴らしに向かう道は、いわゆる公園と思うと危険で整備に必要がある道に思えるでしょうが、あの崖のカーブからの見晴らしの入口の道に開ける感じがいいのです。 あのカーブの斜面にはキンラン程珍しい植物ではありませんが、ホウチャクソウが群生していて、毎年初夏に可愛い姿で楽しませてくれます。 柵の設営の際はホウチャクソウの群生地を無くす事が無いよう配慮頂けると嬉しいです。 添付は保全会紹介用に作成した台峰の略地図です。地元民が台峰で大切にしているポイントが入れてあります。 この風景が大きく変わる事がないように、変わるとしたら今ある老化で危険木となった木を整備、新たに植樹などもしてより元気な姿になってくれれば嬉しいです	
7	12/13	植物全般	◆『3.8 サクラ類の保存の検討』について サクラだけでなく、台峯緑地に生息する日本在来の動植物を中心とした維持保全の計画を検討すべきです。 前述したように台峯緑地はいわゆる「里山」と呼ばれる二次林を主とした自然環境であり、貴重な動植物はサクラだけではありません。 台峯緑地は、今回の基本計画の主な対象区域である尾根筋エリアでは山地性の植生が、谷戸池を中心とした谷戸エリアでは平地や湿地性の植生がと、面積が狭いわりには多様な植生や自然環境があり、それが住宅地に隣接しながら残存しているということに貴重性があります。 サクラもちろんその一部として貴重ですが、他の樹木やその他の植物、あるいはそこを棲み処とする動物や昆虫等よりも貴重ということではありません。 視点を変えればサクラ類を維持保全していくためにその周りの自然環境も維持保全していく必要があります。他の動植物が減少したり絶滅してもサクラだけが生き残るということではできません（街路樹のように対象樹木のみ残すのは自然環境保全ではありません）。 ぜひサクラ類だけでなく、台峯緑地の「里山」としての自然環境全体を維持保全していくための計画内容としてください。	【回答】 ・サクラ類の保全や維持管理の手法については、過去の植生調査等の結果を踏まえ、ボランティア団体と協議しながら対応を検討します。
8	11/27	サクラ	・サクラの保全をうたっていますが、今現在尾根筋にある桜はいずれも枝折れ、胴吹、テングス病、虫食いなどが見られ、かなり弱っているように見受けられます。保全には樹木医を入れるなどの対策が必要かと思われますが想定しているでしょうか。	
9	12/5	サクラ	⑤さくらに関して 主にオオシマザクラを想定しているとお話でしたが、樹齢は60年～100年と聞きます。現在でもサクラの倒れてしまっている、または倒れそうなくらい大木になったものが散見されます。長期的な展望に立った植林計画を希望します。	
10	12/9	サクラ	方針をふれあい・利活用型に定めると以下の区分けになります。 1) 必要なもの ・サクラ類の保存の検討	
11	12/10	サクラ	・サクラ類…どのように保存するのか記載がありません。大切なことはその手法と継続性です。そこが肝心です。	

項目		サクラ類の保存		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
12	12/12	サクラ	サクラ類の保存 ただ保全というのではなく、これからも長く健全な状態を保つために、病巣を取り除く作業を行うべきと考えます。サクラ類周辺にあるササ類の除去も行うべきと考えます。	【回答】 ・サクラ類の保全や維持管理の手法については、過去の植生調査等の結果を踏まえ、ボランティア団体と協議しながら対応を検討します。
13	12/12	サクラ	○尾根道近くのサクラの保全について。 オオシマザクラは美しいのですが、人工的に作られた種なので、樹齢は60年ほどで同じ形態です。知識がないのでほんの思い付きですが、尾根道にオオシマザクラだけでなく、自然な山桜が育つようになるとよいと思います。	
14	12/13	サクラ	【3.8 サクラ類の保存の検討】 病気で弱っているサクラが多く、樹木医によるケアが必要だと感じています。またサクラだけでなく、他の樹木についても古い木、弱っている木が多いので計画的な植林も必要だと感じています。この里山を守るために、そうした予算を組み込んでいただきたいです。	

項目		展望広場		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
1	12/9	施設全般	方針をふれあい・利活用型に定めると以下の区分けになります。 2) 不要なもの ・眺望広場の検討	【回答】 ・展望広場については、景観への配慮といただいた意見を考慮し、新たな整備は行いません。 ・ベンチや階段等の新設要望を受けた際には、設置場所や材質等についてボランティア団体と協議しながら対応を検討します。
2	12/13	水飲みベンチ 階段 手すり サイン	◆『3.9 眺望広場の検討』について 解説サインの設置は賛成しますが、それ以外のベンチの設置（置換や増設）、水飲み場の設置、階段の設置にはすべて反対します。必要ありません。 ベンチは既存の自然木（丸太）ベンチが台峯緑地の雰囲気にも合っています。今後台峯緑地を維持保全していくための整備活動でナラ枯れ木や風倒木、あるいは危険木や支障木等の伐採等で現地で自然木が調達できる可能性は大いにあります。現状の自然木ベンチが腐朽した場合にはそれらでの置換や増設を検討すれば良いと考えます。前述の通り擬木製のベンチやテーブルは台峯緑地の雰囲気には合いませんし必要ありません。 階段や水飲み場についても、「自然環境をありのまま楽しめる緑地」には似合いませんので、前述の通り必要ありません。 解説サインの設置場所や記載内容は要検討だと考えます。擬木製でなく自然木製が良いと考えるのは他のサインと同様です。	
3	12/9	水飲みベンチ 階段 手すり	①見晴台（老人の畑）に水飲み場は要りません。余計な設備は作らないでください。皆さん水筒をご持参ですし、南管理事務所に水道がありますので十分です。 ②新しいベンチも要りません。今ある丸太のものが腐ったら、同じような物と取り換えてください。 ③見晴台付近は階段や手すりも必要ないと思います。不便とか危険と思われるかもしれませんが、今ある地面の形が魅力なのです。そのまま維持してほしいと思います。	
4	11/27	階段 水飲み サイン	※眺望広場の検討について ・階段は必要だと思います。 「水飲み場」「眺望サイン」については前述のとおりです。 （前述） ・水飲み場の設置ですが、山ノ内排水地事務所との距離感においては不要であり、さらに景観を損ねるものでもあり、必要はないと考えます。 ・「眺望サイン」は景観を損なうものであり、設置には異議を唱えます	
5	12/13	水飲みベンチ 階段	①見晴台は以前から地元の利用者が多く、いわば緑地の顔ともいえる大切な場所です。 昔からの景観を残すことを基本に、最小限の整備にとどめてください。 1) その意味で水飲み場の設置は違和感を感じざるをえません。また、ホームレスの人が洗濯などをするため入り込むのでは？と、心配をしている人がいました。 2) ベンチは一般の都市公園でも使われるデザインなので、より自然に溶け込むよう、一工夫必要と感じます。 3) 階段の整備も最小限にしていきたいと思います。	
6	12/3	階段 ベンチ サイン	※眺望広場の「階段」「ベンチ」「水飲み場」「眺望サイン」検討について ・「階段」は一部必要だと思いますがその形態、素材に関して確認いたします。 ・「ベンチ」に関して、この場において既製品は最も似合わないと思います。 現在、設置されている倒木ベンチはボランティア団体が設置したのですが、景観と共に、この場の環境をより魅力的にしているものだと思います。 ・「水飲み場」の設置に関しては不要と考えます。景観、利便性、山ノ内排水地事務所との距離においても不要だと考えます。 ・「眺望サイン」に関して、景観を損なうものであり不要だと考えます。	
7	12/5	階段 サイン	➤ 自然を残した眺望広場の見晴らしの確保 ・眺望広場にはできるだけ水飲み場、サインなどの人工物を設置せず、自然の眺望を残していただくよう要望します。	
8	12/13	水飲みベンチ サイン	見晴らしについては毎年秋にこども達のお月見祭りの舞台となります。 この風景が変わらないように、水飲み場、人工のベンチ、看板は無しでお願いしたいです。	
9	12/13	水飲みベンチ サイン	素案では「眺望広場の検討」とされている場所には思い入れがありますが、ベンチ・解説サイン・水飲みは不要と考えます。これらのように人工物が存在してしまうと、手つかずの自然が公園化され、魅力が失われてしまうと考えるからです。	

項目		展望広場		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
10	11/21	水飲み、ベンチ	まず水飲み場は必要ないのではないのでしょうか？各入り口からの到達時間を考えても水分を補給しなくてはならない距離だとは思えません。また数分歩けば配水池の管理棟です。そして何よりもあの場所の魅力は人工的なものがないということかと思います。そこが他のいわゆる公園とは一線を画しこれまでも人を惹きつけてきたのではないのでしょうか？解説看板も含め私は不必要なものだと感じます。ベンチもできるだけ風景に溶け込む簡素なものを希望します。メンテナンスの問題はあるかと思いますが、できれば環境にも負荷のない自然素材のものであれば望ましいと思います。	【回答】 ・展望広場については、景観への配慮といただいた意見を考慮し、新たな整備は行いません。 ・ベンチや階段等の新設要望を受けた際には、設置場所や材質等についてボランティア団体と協議しながら対応を検討します。
11	12/8	ベンチ 水飲み	山崎・台峯緑地（都市緑地）の基本理念である「優れた自然環境を守り後世に伝える」および保全・活用方針で示された「利便施設、管理施設の導入は最小限に止める」という指針は、緑地の自然と景観を守るための重要な考え方です。しかしながら、今回の基本設計（素案）には、この理念に反する内容が含まれているのではないかと懸念しています。特に、眺望広場への近代的なベンチや水飲み場の設置は、これまで市民が協力して保全してきた伝統的な景観を損ねる可能性があります。この緑地の魅力は、人工的な手があり加えられていない素朴な自然環境にあり、都市公園と見まがうような設備の導入はその価値を減少させる恐れがあります。また、こうした設備の導入に伴う工事が、土壌や植生への影響を及ぼすことも懸念されます。特に、眺望広場周辺には削平地や土塁とも思われる表層地形があり、これらが鎌倉城の広域遺構である可能性が地域住民によって指摘されています。このような歴史的価値のある地域で基礎工事が行われることは、遺構を傷つけるリスクがあり、計画を進める前に慎重な調査や市民との議論が必要ではないのでしょうか。さらに、眺望広場は地域住民が静かに自然と触れ合う貴重な場として活用されています。夜間には星空観察やお月見が行われ、私自身もごくたまに双眼鏡を持参して星空を楽しむことがあります。しかし、これまでの訪問で、夜間に人通りを見かけたことはほとんどありません。この利用状況を踏まえると、公園灯の設置の欠点として、光害を引き起こし星空観察を妨げるだけでなく、野生動物へ悪影響を及ぼす可能性も考えられます。こうした影響を最小限に抑えるために、少なくとも眺望広場に近い部分は、現状維持が最善の選択であると考えます。	
12	12/12	ベンチ 水飲み	眺望広場に水飲みの施設は必要ないと考えます。またベンチも今ある自然木でのベンチが相応しいと思います。	
13	12/13	ベンチ 水飲み	展望広場にベンチや水飲み場の設置を計画しているようですが、現状でも木を使ったベンチがあり、カモフラージュはされているが人工的なものを置くことには反対です。せっかく自然のままの状態にあるものをあえて人工物を設置することに違和感を覚えます。また、この場所を含め、市民活動団体が手弁当で作り上げてきた遺産に手を加えないでほしいです。	
14	11/24	ベンチ	見晴し台には丸太があります。これで十分かと考えます。ベンチなどを置いても座面が汚れるので誰も座らないかと。実際、その裏にあるベンチとイスは誰も使っていませんね。	
15	12/3	ベンチ	（3）自然との共存が基本、人的対処は最小限にしていきたい。 円覚寺六国見展望台へのベンチ設置については、これまで他所に設置してきているテーブルと一体となっているものではなく、現在ベンチ代わりにしている丸太を更新するか、低い縁台のようなものにして、円覚寺六国見展望台そのものの景観を損なわないようにしていきたい。	
16	12/9	ベンチ	③眺望広場のベンチについて 現在丸太のベンチがあり、自然の景観を損なわない雰囲気が気に入っています。 計画されているベンチの金属部分が、この眺望広場には似合わないと思います。 今後も丸太のベンチを継続していただきたいです。	
17	12/13	ベンチ	展望地のベンチも不要です。現在自然の木を使用した手作りベンチが設置してあり、その方が自然で趣があります。	
18	12/10	サイン	・解説サイン…眺望広場に設置したらそもそもの眺望が台無しです。スマホで調べるのが普通の行動では？	
19	12/12	竹林	眺望広場 眺望広場は眺望があるから意味があるので、それを阻害する 崖下、南側のモウソウチクを徹底して排除すべきだと考えます。それを前提としての眺望広場だと思います。	【回答】 ・竹林の維持管理については、過去の植生調査等の結果を踏まえ、ボランティア団体と協議しながら対応を検討します。

項目		落石防護網		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
1	11/21	落石防護網	民家に隣接しているところで急勾配の面では急務かと思います。	【回答】 ・素案の整備方針を基本として落石防護網の検討を進めます。
2	11/27	落石防護網	※落石防護網の検討 ・民家に隣接する地点では必要性を感じます。	
3	12/3	落石防護網	・民家に隣接する地点では必要性を感じます。	
4	12/8	落石防護網	・落石防止網については、人の安全に関わる部分なので、異論ありません。	
5	12/9	落石防護網	【落石防止網→必要】 人命に関わる施設のためぜひ設置いただきたいと思います。	
6	12/9	落石防護網	方針をふれあい・利活用型に定めると以下の区分けになります。 1)必要なもの ・落石防止網の検討	
7	12/10	落石防護網	・落石防止網については、人の安全に関わる部分なので必要だと思います。	
8	12/10	落石防護網	落石防護網等、安全に関するモノは必要です。但し、利用者が少ない場所は打ち合わせが必要と思います。	
9	12/11	落石防護網	・落石防止網については賛成です。	
10	12/11	落石防護網	<賛成> 落石防止網。 <理由> ・（賛成）落石防止網については、人の安全に関わる部分で、異論ございません。	
11	12/13	落石防護網	◆『3.10 落石防護網の検討』について 計画の「覆い式落石防護網」はコンクリート吹き付けよりもマシという理由では消極的に賛成します。 ただし、急勾配斜面の剥落や飛散防止で「覆い式落石防護網」方式よりも生物多様性に悪影響がないより良い方式があるのなら是非検討していただきたいです。	
12	12/13	落石防護網	【3.10 落石防護網の検討】 ご提案に依存ありません。	
13	12/13	落石防護網	・落石防止網については、人の安全に関わる部分なので、異論ありません。	
14	12/11	（落石防護網）	⑤危険箇所の整備→必要 理由：安全な場所であって欲しい。何よりも必要。 ●手抜きをしないしっかりした工事してくれる会社に頼んで欲しい。 台峯は自然を守る場所として保存、安全整備をして欲しい。便利なものは魅力的ではあるが、どこまで便利な場所にする必要があるのか考えて欲しい。安全を第一に、できるだけそのままの形で残すことに価値があるのだと思います。	
15	12/1	樹木	稲荷神社の下については、そもそも木が大きすぎるのを抑え込む等対応が必要と考えます。	【回答】 ・巨木化した樹木については、必要に応じて、施設整備の際に枝払い等の対応を検討します。

項目		維持管理		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
1	11/30	三者協議	台峯を大切に丁寧に守りながら長い時間をかけて手入れし続けて下さっている地元の方達の意見を充分に聞き入れて頂きたいです。	【回答】 ・今後、市とボランティア団体と指定管理者の三者協議の場を設けて、具体的な維持管理等の内容について検討していきます。
2	12/3	三者協議	・指定管理者を含めた協議の場を求めます。 指定管理者からは「基本設計」などに関する「計画書」が提出されているものと思います。前述した通り、整備をするうえで「何を対象に」「いつ」「どのように行うか」はとても大切なことだと考えています。これらも含め市民団体との協議の場を求めます。	
3	12/6	三者協議	台峯緑地の整備計画ですが、やはり、今の状態から今後どうしていくかを、地域住民や手入れをしているボランティア団体と話するのが先決かと考えます。 古くなっている木をどうするか？長くこの森を維持するにはどうしたら良いか？壊れている柵はどうするか？課題はたくさんあると思います。 その中で、やっぱりここは整備した方が良くと結論が出たら、進める形が良いと思います。 もちろん、安全対策に対しては異論はありません。 ただ、それ以外の部分は、今すぐやらなければならないようなことは、それほど無いと思いますので、一旦立ち止まって、そもそものところから検討いただければと思います。 同様の内容を市長にもご意見いたします。 ちなみに市長は台峯緑地保全会に何度か来られています。市役所の方は、お見かけしませんが、 台峯が長く保全するという観点で、整備頂ければと思います。それには我々地元住民が市役所と一丸となって取り組みたいと思います。	
4	12/12	三者協議	●お隣の横浜市は、みどり税があるのも大きいですが、横浜市内の森や緑地の整備を住民と行政が協同行っておりま す。 定期的な大規模な草刈りや、間伐など、行政が年に2回ほど対応しております。また、専門家がそれぞれの森や緑地において保全計画を作り、それに基づき愛護会などの住民組織が管理を行い、さらにはフォローアップとして、定期的に専門家が緑地の状況を確認し、アドバイスをを行います。 鎌倉市は、横浜市と比べると緑被率は多いにも関わらず、管理は住民任せ、緑地保全の体制づくりが遅れていると感じています。	
5	12/13	三者協議	▲山崎・台峯緑地の今後の運用および維持保全活動について 11月29日の説明会でもたびたび話題に挙がりましたが、これからの台峯緑地の維持保全活動を持続していくためには行政（鎌倉市）と指定管理者（現時点では鎌倉市公園協会）と市民（ボランティア活動団体およびそのメンバー）という三者の協働が不可欠だと考えます。これについては説明会でもみどり公園課の皆さんも「鎌倉市（や指定管理者）だけではやっていけない」と明言されていたと記憶しています。 この三者の協働を実現および持続していくためには、今回のような基本計画の段階から三者から広く意見を募集しとりまとめる「協議会」的な場（や団体）を創り、そこでの意見や提案を計画に盛り込んでいくことも重要なのではないのでしょうか。 11月29日の説明会でのみどり公園課の皆さんの発言や応答を見ると「基本計画がまとまり実際の運用が始まってから三者の「協議会」をつくってやっていけば良い」という雰囲気があったように感じます。 しかし実際の運用や維持保全活動をするうえで、基本計画でまとめられたことが大きく影響することは多々あるはずです。 11月29日の説明会も、平日の夜にも関わらず多くの市民が参加しました。それだけ市民の関心や意識が台峯緑地に向いている証です。ただ素案をまとめて説明会を開催してそこで意見を募集するのではなく、どうせならとりまとめの段階から市民にも参加させてははいかがでしょうか。前例が無いからやらなくて良い等ではなく、前例が無くても今後良くしていくためにやったほうが良さそうならやってみる、で良いのではないのでしょうか。 日本で初めてのナショナルトラスト運動は1964年の御谷騒動だと云われます。それだけ自然環境保全に関心の高い地域であり、鎌倉市もそれに応答してきた歴史を今後も誇っていただくためにも、ぜひ前例なきことでも果敢に挑戦、取り入れていつていただきたいと考えます。	
6	12/13	三者協議	【そのほか】 説明会でも意見が出ていましたが、日ごろから手入れに参加して、長年保全活動にかかわってこられた地元の有識者の方たちや地元市民の方たちの意見をくみ取り集めるような会、市と指定管理者とともに話し合いができるような場を設けてもらいたいと思いました。 これから公園になり、新たにそこを訪れる人たちの安全も大切だとは思いますが、まずは元々そこに生きていた生き物の場でもあること、地元の人たちの憩いの場でもあること、自主保育の子どもたちや地元小学校の活動の場でのあること、そのことを忘れないで公園化、これからは続く保全活動を考えてもらいたいと思いました。よろしく願いいたします。	
7	12/1	維持管理	主動線上の枯れ木・枯れ枝はだいぶ整備されましたが、副動線上にはまだまだ枯れ木等散在しています。木も老いて病気になり枯れ、倒れた大径木の後には新しい芽がでる。そのままの裏山。植物と勤物の生活の場。近所の裏道。それが台峰の良さであり魅力だと感じています。	
8	12/9	維持管理	草刈りなどは業者に高い料金を払うより、地元民にお願いして、税金を有効に使って欲しいと切に思います。	

項目		維持管理		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
9	11/21	草刈り	今回は物の設置についての計画で維持管理については今後の話しということですが、それにしてもいかに維持管理していくのかということが常に気に掛かります。 たとえばベンチについて眺望の件でも触れさせていただきましたが、眺望とまでいかなくても場所によってはほおっておけばすぐに草に覆われることが予想されます。魯山人跡地でも草に覆われベンチが見えなくなっている状態をみかけました。 また多くの立ち枯れした木もあります。倒れる時は突然で予測はできません。 公園として提供する以上、市民が安心して、なおかつ快適に立ち寄るための継続的な整備作業を実効性あるものとして計画していただくことを強く希望します。	【回答】 ・今後、市とボランティア団体と指定管理者の三者協議の場を設けて、具体的な維持管理等の内容について検討していきます。
10	11/24	草刈り	下草を、刈り取りしすぎて虫が激減しています。 適当にやっていただければ幸甚です。	
11	12/9	草刈り	④その他 山崎・台峰緑地は、手入れがされすぎていないところが魅力のひとつだと思っています。 緑地内の雑草や雑木として伐採される植物の中には、食料となったり薬になったりするものも多くあります。 例えば、クサギの木の葉は佃煮の材料となり、山陰地方では冬場の食料として保存されていましたし、アカメガシワの樹皮は市販の胃腸薬の原料となっていて、お茶として飲んでも大変美味しいものです。 クサギ、アカメガシワはどちらも繁殖しやすく生育も早い、どちらかというとな伐採対象になりがちな種であると認識しています。 この他にも、緑地内にはセリやクレソン、ベニバナボロギクなど、美味しく食べられる草も多く生育しています。 今後、何か災害が起こった場合、ビタミン類の補給源として緑地には大きな役割があると考えています。 鎌倉市内や横浜市の公園を見学すると、人の手が入りすぎて整然としてしまい、市民が活用する公園でなくなっている場所が多く見受けられます。 はじめにも書きましたが、山崎・台峯緑地の1番の魅力は、いい意味で手入れがされすぎていないところです。 今後もこのような緑地であり続けることを、心から願っています。	

項目		その他（素案全体）		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
1	11/27	整備範囲	2. 整備範囲について 以前伺った時には、遊歩道周辺がその範囲とお聞きしました。 例えばベンチ④について眺望箇所という記述がありましたが、北側斜面はこれまで保全会で繰り返し伐採、草刈りを行ってきました。しかし数か月手入れに入れないでいるだけですぐに鬱蒼としてしまい、そうなると眺望はほぼ望めません。ベンチ設置予定地⑤の南側にあたる平地ですが、秋口まではセイタカアワダチソウとカヤが群生します。草を刈った翌年の春には見事な土筆畑になりますが手入れを怠ると鬱蒼としてしまいます。ここは初冬に保全会で草刈りをしますが、刈払機8台で半日以上、延べ2日はかかります。 ベンチ番号④～⑤の南側は「キンラン」絶滅危惧II類（VU）（環境省レッドリスト）が群生していますが、ここも川上さんたちが下草刈をしてくださった結果10年ほど前に蘇った場でもあります。「キンラン」の群生地は鎌倉では他に類を見ないほどです。この地帯の下草刈りは半日の作業で3～4回はかかります。 他の場所も遊歩道から離れたところも整備をしないと景観どころか全体的なバランスが壊れてしまうと危惧します。	【回答】 ・今後、市とボランティア団体と指定管理者の三者協議の場を設けて、具体的な維持管理等の内容について検討していきます。
2	11/27	整備費	3. 予算について 山は不測なことがよく起きます。 台風などによる倒木・なら枯れ・古木等の倒木・枝折れなどいつ何が起こるかは予測が難しく、鎌倉市には随時対応していただきたいことが発生します。 このような時に市に報告をするのですが、当期の予算がないとのことで先送りになった事例はいくつか記憶にあります。 臨時予算などはどのようになっているのでしょうか？ 今回、水飲み場や公園灯などの予算がどれほどかは存じ上げませんが、これを節約することで、今後における台峯の整備予算に組み込んだりすることは可能なのでしょうか？	【回答】 ・整備と管理はそれぞれ別の予算で計上されており、必要であればそれぞれに対して適切な予算要求を行います。
3	11/24	現況施設	山ノ内配水池の建屋は別として、駐車場のガードレールが大袈裟ですね。あんなに頑丈なのは見たことはありません。もっと簡易なものでも良かったかと。これからの計画にも反映させていただきたく。	【回答】 （柵） ・破損している仮設柵がある箇所にのみ新設を検討します。 ・階段・柵の素材については、安全性、耐久性を考慮した上で、ボランティア団体と協議を行い、詳細を検討します。
4	12/10	グラウンド災害対策	5 災害時対応として 鎌倉で大地震があった場合、津波から逃れるためには高台への避難が推奨されています。鎌倉旧市街から源氏山周辺に避難すると、台峰を経由して大船・横浜方面へ行けますので、災害発生時の避難ルートとして利用できるようにしておくことは必要と思います。そして一時的に避難あるいは休息できる場所として北鎌倉女学園グラウンドを整備すれば如何でしょうか。グラウンド周辺には少し頑丈な給水設備や井戸、太陽光発電設備、緊急時にグラウンドに入れるように、物理カギではない防犯設備（震度や停電によるパニックオープンや赤外線関知システム等）なら必要と思います。	【回答】 ・貴重なご意見として承ります。
5	12/11	茅場	・6ページ 茅場（カヤマ）、畑等の再生を行う具体的なプランがあれば拝見したいです。 眺望広場のあたりを指し示しているように見えますので、” 広場でもあり畑でもある” または ” 広場の一角に畑がある” と想像していて良いのでしょうか？	【回答】 ・茅場、畑等の再生については、（仮称）山崎・台峯緑地基本計画に「耕作放棄地の環境再生」として保全管理の方針を位置づけられています。
6	12/11	危険個所の整備	⑤危険箇所の整備→必要 理由：安全な場所であって欲しい。何よりも必要。 ●手抜きをしないしっかりした工事してくれる会社に頼んで欲しい。 台峯は自然を守る場所として保存、安全整備をして欲しい。便利なものは魅力的ではあるが、どこまで便利な場所にする必要があるのか考えて欲しい。安全を第一に、できるだけそのままの形で残すことに価値があるのだと思います。 ⇒柵と落石防止網のページにも記載	【回答】 ・鎌倉市では、都市公園法に基づく都市緑地の保全と利用を進めるにあたり、市民のご意見を踏まえ、自然、景観、環境保全と利用者の安全性を考慮した適切な対応策を検討します。
7	12/13	利用人数	◆『3.2 敷地・施設容量からみた利用者数の検討と設定』について 特に反対や賛成の意見はありません。	
8	11/15	素案全体	あまり手を加えずに、自然のまま残していただきたいです。	

項目		その他（素案全体）		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
9	11/27	素案全体	【素案全体についての質問】 1. 基本設計の対象である「山崎・台峯緑地」は緑地なのか公園なのかお答えください 2. 整備範囲とありますが、その想定範囲をお教えてください 3. 予算項目についてお答えください（今回の基本計画にはありませんが） 質問の根拠 1. 「山崎・台峯緑地」の基本設計の対象は公園なのか緑地なのか？ 景観緑三法と連なる都市緑地保全法に「都市緑地法」と「都市公園法」があるそうですが、それぞれの定義が違い整備の方法も違うように感じます。 「山崎・台峯緑地」はどの定義に含まれるのか、またはどちらにも含まれないのかをお答えください。 これは私共の拠り所、立ち位置にも大きく影響すると思います。	【回答】 ・都市公園法に基づく「都市緑地」であり、都市の自然的環境の保全・改善及び都市景観の向上の用に供することを目的とする都市公園です。
10	12/3	素案全体	今回の目的は「最小限の整備」であるという、施設上の計画であることは理解しました。 ただ、整備をするからには、そこに息づく人々への配慮、生息する生き物（動植物）や環境への影響を考慮する必要性が大きくあると感じます。 【素案全体についての質問】 1. 「都市緑地」に該当するということですが、整備範囲及びその方法をお答えください。 【質問の根拠】 1-1. 「保全・活用方針」には「線と点での利用に限定して活用する」とありますが、先日の説明会において、それ以外の敷地の利用も可能だと理解しました。 例えば草刈りによって開かれた場などで、近隣の幼稚園児や自主保育の子ども、学童の子どもたちなどがのびのびと遊んでいます。 また、休日ともなると、子どもたちだけではなく、家族連れや多くの方々にとって団らん、憩いの場として活用されています。 この件に関し確認をしたいと思います。 1-2. 台峯には様々な植物や生き物が生息しています。 草地の整備は都市公園などのように一律に行えばいいというものではないと感じています。 「何を対象に」「いつ」「どのように行うか」。その植生に応じた「手入れ」が必要です。 保全会の方々の中には、積み重なる経験をお持ちの方もいらっしゃいます。 この地の植生を体験から学び、保全活動に活かしてくださっています。 その経験・知識は、この地にとって大きな財産だと感じています。 場をどのように保全するかは、今回みどり課さんが提唱する “山崎・台峯緑地の優れた自然環境を守り後世に伝える” という「基本理念」と重なる要件だと感じています。	【回答】 ・貴重なご意見として承ります。
11	12/3	素案全体	・北鎌倉台峰緑地保全会の発足は2008年となっておりますが、それ以前から地域の住民の手によって、荒廃した里山の保全が行われてきました。まさに「鉾一本」からの活動です。その活動範囲は台峯のほんの一部かもしれませんが、私たちはその思いを大切にしながら、今何が大切なか、何ができるかを考えながら歩んでゆきたいと思っています。 保全活動をしていると「気持ちがいい。心が安らぐ」「いつもありがとう」「以前は鬱蒼として入ることができなかった。今はゆっくり散策できる」など様々な声をいただくことがあります。 毎年元旦、眺望広場にはたくさんの方がご来光を望みに集まります。 それこそ四季折々の変化を感じることができます。 先日「眺望広場」に杖を突いたお年寄りがご家族と共に来られました。 その方にとって急な坂を、寄り添っていた方々が手を添えながら登り、景色を眺めていました。 また、先日の説明会にも数家族が参加していたように、この場を感じながら育った子どもたちが多くいます。 “山崎・台峯緑地の優れた自然環境を守り後世に伝える”ため同時に、鎌倉市も提唱している“共生社会”を具体的に実現するためにも私たちの声を反映していただきたいと思います。	

項目		その他（素案全体）		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
12	11/21	素案全体	山崎台峰の下、瓜ヶ谷町内会4区に30年住んでおります。 樹木に寄生する害虫の駆除などいつも大変な管理ありがとうございます。 近年思うことですが、見晴台あたりの、ショウリョウバッタやコウロギ等は、人が手入れをすればするほど少なくなってきたようです。 カブトムシ、クワガタ、カマキリはすっかり居なくなりました。 昔、孫たちは虫探しを喜んでいましたがこれからどうなることやら。 人工的なもの、舗装などは極力減らし、人より虫に優しい、虫が生きる設計、保全を期待します。 園路の小道は人が通れば十分です。 雨が降ればぬかるんで構いません。 草木は切りすぎると虫は居なくなります。LEDで照らすのも虫たちには迷惑ですね。 養老先生がお墨付きをするようによろしくお願いします。	【回答】 ・貴重なご意見として承ります。
13	11/24	素案全体	ご担当としては予算の時期かと思いますが、節約思考でなるべく物は少ない方が自然に優しいかと。 管理とか、保全とか、ご担当におかれましては悩ましいことかと思えます。 散策路を、舗装しないことは素晴らしいことです。コンクリートやアスファルトは今のところで十分ですね。 昨日もバイクで散策路を北鎌倉女子高へ抜けようとした人がいましたが、やめてもらいました。	
14	12/1	素案全体	意見の概要としては、P19、20にある落下防止網とP9の転落防止柵の一部以外は不要と考えます。 この台峯は、昔は山崎の切通が地続きで、ローソン台4丁目の裏にある戸ヶ崎までつながっていましたので、鎌倉時代の見張りが戸ヶ崎にあり、大本営である鎌倉中心地への伝令の通る場所であり、その当時の状態を残す貴重なものだと考えられます。これをできる限り崩さず残すのが我々の使命だと思っています。	
15	12/1	素案全体	先日は、説明会を開いて頂きありがとうございました。みどり公園課の方々に感謝すると共に、最小限の設置物のみに抑え地域の活動をしている市民と協力して整備して行く方針に共感しました。 一般市民の方々の感覚からするとベンチ・水飲み場・公園灯・サイン・階段・落石防護網の設置は当然の事と思われると思います。ただ、今まで子供たちと日常的に台峯の中で遊び・散歩し・何気なく過ごして来た中で上記の（落石防護網以外）の必要性を感じたことがありません。ベンチについては、切り株・倒木・草の上に座れば事足ります。何よりそのまま座った方がその場所の空気感が伝わります。	
16	12/1	素案全体	私の娘も、小さい時から台峯で遊び過ごしてきました。今の街中では知ることの出来ない体験をたくさんして来ましたので娘の意見も以下に記します。 “私は、今のままの台峯緑地でいいと思います。今までに困った事はありませんし、人工的な物を作るより今ある自然を大切にしたいな、と思います。”	
17	12/3	素案全体	（1）通行安全と自然保護の両立させていただきたい。 谷戸の池前後の道はヌカルミがあり、小枝を切ったものが並べられています。但し、ヌカルミの全体をカバーするものではなく、落葉の季節などはヌカルミがわかりづらく足をとられて転倒したことがあります。 しかし、ヌカルミや小さな水たまりは「ヘイケボタル」の生息域にもなっており、水抜きや整地をしてしまうことは適当ではありません。 これらへの対応策として、湿地エリアだけでも「足のある木道」にすることで、通行安全と自然保護の両立を図っていただきたい。	
18	12/4	素案全体	私は、日々犬の散歩などで台峰を利用しています。北鎌倉台峰緑地保全会の皆さんのおかげで安全に心地よく歩くことができ、植物を見て楽しませて頂いています。 説明にあったような工事が必要かどうかは、よく分かりませんが、藪があれば、不審者が潜んだりの心配、歩きにくければ山へ入ることはありません。 保全会あつての台峰ということだけは感じています。必要最低限のものを取り入れて、あとは、保全会の活動費にして欲しいくらいです。 保全会の活動のことももっともっともっと大事にして欲しいです。活動してくれる方々も高齢になり今後が心配です。盛り上げて若い方にも参加してもらえるようになればいいなと思います。	
19	12/5	素案全体	私は台峯の割り当て地域の草刈りや支障木伐採などの保全活動に参加しています。その上で意見を述べさせていただきます。 保全活動をしていると、台峯を訪れるハイカーから「広町緑地よりも多くの自然が残っていて、歩いていてとても気持ちがいい」といった声をよく耳にします。 その一方で鎌倉市としましては、台峯を訪れる子供を含めた市民やハイカーが台峯でケガや事故を起こさぬことや、大規模災害発生時の住民の安全確保を整備目的の第一に考えられているのではないかと思います。 従いまして、自然を損なわないことと安全が確保されることが両立される整備となるよう希望します。 自然保護の観点からは、鎌倉には広町・常盤山・台峯の3大緑地がありますが、その中でも台峯はまだ人工的な工作物が少なく、それが魅力の一つではないでしょうか。あえて自然に接するために台峯緑地を訪れる人のためにも、できるだけ人工的な設備は安全のための必要最低限なものにとどめ、本来の台峯緑地の魅力を維持していただくようお願いします。 また、災害発生時の対応についても、周辺住民が安全かつ迅速に緊急避難指定場所に避難できることが大切です。	

項目		その他（素案全体）		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
20	12/5	素案全体	⑥その他管理等全般に関して ①水飲み場②ベンチ③階段など設備への出費は不要であると思いますが、④公園灯⑤さくらなど災害対策や環境保全にかける出費は必要であると思います。	【回答】 ・貴重なご意見として承ります。
21	12/5	素案全体	現状維持を望みます。 山崎・台峯緑地は、既に十分な整備が進んできていると考えております。 ベンチやフェンスなどの設置の大切さは理解しますが、本地に関しては、極力、自然の姿を残し、人工的な設備は不要です。そのような状況だからこそ得られる恩恵や学びがあります。それで充分です。	
22	12/8	素案全体	本計画が多くの市民の要望に基づいて策定されたのかどうか疑問を感じています。もし市民からの要望が十分に反映されていないとしたら、設計素案の根拠が薄くなるのではないのでしょうか。もし市民の多くが、この緑地を静かに自然と触れ合う場として維持したいと考えているのであれば、近代的な設備の導入は理念や保全・活用方針にそぐわないと言えるでしょう。	
23	12/8	素案全体	本緑地の魅力は、その自然環境と歴史的背景にあります。ベンチや水飲み場、公園灯などの導入に伴う景観の変化や自然への影響を考慮すると、今回の基本設計（素案）は現地の特性を活かしきれていないのではないかと思います。近代的な設備ではなく、既存の自然環境や歴史的景観を活かす形での整備が必要です。 結論として、本計画が理念や方針に基づき、市民の声を反映したものなのか、さらに十分に説明をしていただきたいと思います。 また、計画内容についても改めて慎重な見直しを行い、設備設置の取りやめや、現状維持を含めた再検討を求めます。この緑地の自然と歴史を守るため、拙速な整備は避けてほしいと思います。	
24	12/8	素案全体	色々ご検討頂きありがとうございます。 東京、埼玉、千葉と色々な地域の友人を連れて散策（登山）を何度もしていますが、自然体である環境の貴重さなど、鎌倉が素晴らしいところだと、喜んでもらえます。 いま現代の求められているのは、違うのではないのでしょうか？ 設備を作るのだけが、大切なのではないと感じています。	
25	12/9	素案全体	フェイスブックで意見を集めたところ、以下のように多くの意見をいただきました。 ご参考にしていただければと思います。 https://www.facebook.com/groups/302170761382043/permalink/1097545401844571/ ※それぞれの写真のところにもコメントが入っております。 あと、鎌倉中央公園が、ずいぶんと整備されてしまい、とても残念。 あの様に人工物での整備は、台峯では極力やめてもらいたいという声を色々なところで聞きました もう一つ、歴史的な観点での見解を述べさせてください。 台峯緑地は、台4丁目のローソンの裏の水道山（江戸時代に戸ヶ崎と呼ばれていた）から源氏山まで繋がっていたと考えられます。 今の山崎小学校とさくら少年広場の切通は、江戸時代に掘削されたもので、尾根伝いに水道山（神明神社の裏）と台峯がつながっていました。 水道山の先端は、今は草木が生い茂っておりますが、見晴らしは良く、鎌倉時代に幕府が、周辺の防衛のための物見やぐらを設置したというのは容易に想像できます。 有事の際は、台峯を通り、本部のある旧鎌倉へ、斥候が伝令に行っていたと考えられます。 また、成福寺から水堰橋を通る鎌倉街道も、そのまま川沿いを通り、台山を經由して、台峯を通っていたといわれています。（今の北鎌倉の県道は湿地で、馬や台軍勢は通れなかったようです） そういった観点からも、大昔からの状態のまま残っている台峯への整備は最小限に抑えていただきたいと思います。	
26	12/9	素案全体	台峰緑地の近隣に住んでおります。 計画案を拝見しましたが、こちらは事前に住民や保全している方へ相談した上で作成されたのでしょうか？ 例えば「1日平均20人程度」の利用者を試算されていますが、そのために水飲み場やベンチの新設は本当に必要なのでしょうか？ また階段や電灯なども高齢者が夜に通るわけでないので整備する必要性は感じられません。 凸凹しているのも里山の良さですし、自然だと思います。 その部分に手を入れるのはいかがでしょうか。 台峰緑地を守っている住民の本当の声を聞いて、このまま計画を推し進めずに、再度計画を練り直していただくことを強く望みます。	

項目		その他（素案全体）		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
27	12/9	素案全体	最初に、この緑地が住宅地として開発されるのを自然保護地区として守っていること、鎌倉市が住民と対話するなかでこの構想が作られていることに感動します。コロナ禍で自粛しなければならないとき、台峯の緑地が私たち家族の癒しとなりました。社会の大きな変化の中で、変わらない自然の存在が本当に安心できる場所でした。 意見は3つあります。 1つ目は、できるだけ人工的なものは設置せず、最低限の設備にしていきたいです。人工的な素材、大きな机やベンチ、夜に明るく光るライトは人間本位では便利に感じられますが、自然と共生できるのでしょうか。自然の大きさを感じられるよう、できるだけ最低限の設備を望みます。 2つ目は、保全活動を行っている市民との協同です。斜面の角度など数値化されたデータを利用することは客観的に把握するために必要なことだと思いますが、それだけで判断せず、長年この地域を守ってきた保全会のみなさんとの意見交換するなど現実的に必要なことのみ手を加えるようにしてください。そのために、基本設計の中に、市民との協同を謳っていただきたいです。 3つ目は、台峯が地域のコミュニティが生まれる場である認識と一緒に持っていただきたいということです。 ここで心も体を開放して遊んだ子どもたちが、ゆくゆくはこの自然を守る大人に育っていきます。そのためには、大人も感動できるような今のままの台峯を残していきたいと願っています。	【回答】 ・貴重なご意見として承ります。
28	12/9	素案全体	緑地というので、色々な整備が必要と考えておられるとおもいますが、他のハイキングコースのように自然を活かした散歩、ハイキングコースと考えたほうが鎌倉の魅力になると思います。 短い道のりの中に、階段や電灯、水飲み場、ベンチは興醒めですし、人工的な場所になってしまうようで本当に心配です。	
29	12/9	素案全体	最近は台峯にハイキングしにくる方も見かけるようになりました。鎌倉のいい所は手付かずのような自然の残るハイキングコースだと思います。	
30	12/9	素案全体	①基本設計の方針（3.1～3.10）の中で、各項目の実行の要・不要について地元住民の意見を入れ再検討し、推進計画を決定していただきたくお願いします。 ・地元住民や台峰緑地をよく利用する方たちが、階段、電灯、水飲み場、ベンチ等の新設を望んでいるのか、必要性を感じているのか、まずヒアリングをお願いします。 ・現状の方針の中にそれが反映されていないようであれば、計画の再考をお願いします。 ・3.1上位計画の位置付け＞【保全・活用方針】＞■市民利用のための活用方針＞「活用のための利便施設、管理施設の導入は最小限に止める」とあり、現時点で利便施設や管理施設は最小限に止められており、追加の必要性やその根拠の明示が必要であると考えます。	
31	12/9	素案全体	③新設でなく継続的保全・補修の計画を盛り込んでいただきたく、お願いいたします。 鎌倉市の施策について、緑地や公園設備に関しては新設以上にまずは継続的保全（修繕、計画的な設備の入れ替え、ランニングコスト等を含む）の内容が重要であると考えます。 市民が安心して利用できる適切な環境の「継続的整備」の視点を常に盛り込んでいただきますようお願い申し上げます。	
32	12/9	素案全体 方針	1.業務目的について 鎌倉市では、「鎌倉市緑の基本計画」と「鎌倉市森林の整備方針」が策定され運用されていますが、今回の目的には平成18年に策定した「台峯基本構想」が適用されています。この3つの施策はどのような関係になっていますか。「鎌倉市緑の基本計画」と「鎌倉市森林の整備方針」は定期的に更新され現状に見合う施策になっていますが、「台峯基本構想」は既に18年経過したことで、状況や目的が当時のものとなっており、時間的にもその計画は完了していますので、適用できるとは思えません。 「台峯基本構想」の基本方針として、鎌倉市の都市景観資源としての保全、保全・活用方針が記載されていますが、あまりの多くの方針があり、一体どこを目指しているのか分かりません。私も含め市民活動グループはふれあい・利活用型としての里山を目指しそのような整備を継続しています。ふれあい・利活用型以外の目的にすると整備の方法が変わってきます。今回の基本設計の方針・目的を見直して明確なものにしてください。	
33	12/9	素案全体	3.鎌倉市3大緑地 山崎・台峯は3大緑地という位置づけがされていますが、広町緑地に見られるような半公園、半緑地のような整備とは違い、山崎・台峯は立地条件からして緑地に特化するべきだと思います。これからも3大緑地を保全して維持していただきたいと考えます。	
34	12/10	素案全体	整備されているものを求めているわけではないので、自然は自然のまま保全して頂きたいです。手を加えることによりよい部分が失われると思います。	

項目		その他（素案全体）		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
35	12/10	素案全体	この資料を拝読して感じたことは、第一に『利用者の声を聴いたようには思えない』、第二に『具体的な保全方法や今後の方針が書かれていない』。市民に出すには少々雑な資料という印象を受けました。ほとんど外部に紹介されていない台峰の環境を、市がどう考え、どうして行こうということが全く見えないので、これでは『市役所の信頼が失われてしまう』というのが第三の印象です。 以下、意見を申し上げます。 1 資料の記載事項に関して 委託内容として何をどこに作るかだけが書かれています。冒頭に『～整備・保全するための基本設計を策定することを目的とします』とあるように、本来手段である『基本計画の策定』が目的になっています。みどり公園課が基本設計を施工業者に委託するにあたっての資料であって、市民に対する資料とはなっていません。簡潔でよいので、市の保全に対する考え方と経緯、今回施策の位置付け、今後の保全あるいはメンテナンスの方針が必要だと思います。台峰の『保全』をどのような手法で行うか、ということが地域住民の最大の関心事です。 また、資料で言う『整備』とは設置または工事のことで、定期的に樹木を伐採・剪定することや、定例作業としての草やアズマネザサの刈り取りは含まれないように読めます。これは市民が知りたいことをはぐらかしているような感があり、かえって不信や不安に繋がると思います。曖昧にせず、はっきりと書かれた方がよろしいかと思います。	【回答】 ・貴重なご意見として承ります。
36	12/10	素案全体	2 計画全体に関して 一番の問題点は、台峰周辺の方々の台峰に対する思いと市の計画書に乖離があることだと思います。ボランティアの方々や周辺で暮らしている方々など地域住民の活動によって、心地よい里山の状態が保たれ（保全）、ほとんど人工物がない里山の原風景は地元の誇りであり、財産であることをご理解いただく必要があります。 上位計画である『（仮称）山崎・台峰緑地基本構想』は”里山”や”保全”についての考え方がしっかりと書かれており、もっと台峰の環境に寄り添って書かれています。それが今回は単なるモノ作り計画になっています。鎌倉の環境や市民の感情に沿っていない計画では反発されて前に進まないと思います。 施設規模の試算は、年間のべ利用者数7,000人、1日あたり19人で、一番多い日で69人。実際はもっと多いと思いますが、資料には妥当な数字だと記載されています。この試算ならば、日常的に台峰を散策している人、遊んでいる子どもと親たち、保全活動をしている人など地域住民が大半ですので、今回の物件が必要かどうかは利用者たる地域住民が判断すべきことだと思います。利用者が不要というモノは必要ないと思います。	
37	12/10	素案全体	3 台峰の歴史について 台峰の尾根道は、鎌倉時代の鎌倉道の一部であり、古来鎌倉の内と外を繋ぐ道でした。当時は安全な山道（谷道は上から攻撃されますので）であり、現代の道路ができるまでは主要道でした。また、台峰を丹念に歩いてみると、鎌倉時代の防御と攻撃の痕跡ではないかと想像される地形が昔のままに近い姿で残っていることが分かります。歴史の道として、他の公園・緑地にはない魅力や価値を引き出すことも大切ではないでしょうか。	
38	12/10	素案全体	4 今回資料の設置物、工作物に関して 設置物は不要、安全対策はメンテナンス方法（今回資料には記載なし）が肝心だと思います。前述の通り、最終的には主たる利用者たる台の地域住民、保全会、山崎小関係者で決めれば良いことだと思います。	
39	12/10	素案全体	6 今後について 市は今後台峰をどうしたいのかという主題をはっきりさせた上で、みどり公園課と地元の関係者（地域住民、保全会等、山崎小関係者等）とコースを歩きながら話すのが一番良いのではないのでしょうか。説明会も必要ですが、一緒に歩いて市民の意見を聞けば、より一体感も生まれて、より良い結果に繋がるのではないのでしょうか。また、市役所内での報告や市民への報告も結果的には早く進むのではないかと思います。 ただ、市は台峰以外にも公園や緑地として広大な土地を市有地とされており、買収費用、維持費用、あるいは得べかりし固定資産税など、コストに見合った“活用”を必要としているのではないかと推測します。 そうであるならば、各公園・緑地の位置付けや活用方法を再検討すべきだと思います。例えば、中央公園は市民広場、六国見山は眺望、鎌倉湖畔や広町は自然探索、台峰は里山・歴史道復活といったように、それぞれ環境やテーマに合わせた整備（モノ作りだけでなく、安全対応、環境破壊対策を含む）方針があっても良いと思います。台峰は距離が短く、高低差も少なく楽な道ですが、寺社など観光地との連動がないので、台峰自体の魅力としては“里山”“歴史”を活用すべきだと思います。 市民・地域住民の期待に応えて、より良い台峰していただけることを信じております。よろしくお願いいたします。	

項目		その他（素案全体）		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
40	12/11	素案全体	①整備・保全について 1ページ冒頭 業務目的 「都市緑地として整備・保全するための基本設計を策定する」とあります。 ぜひ、継続的な整備・保全をお願いします。 また、 5ページ 基本理念 「山崎・台峯緑地の優れた自然環境を守り後世に伝える」 これに則り、後世へ繋がる継続的な整備・保全をお願いします。	【回答】 ・貴重なご意見として承ります。
41	12/11	素案全体	②設置案について 5ページ左下 「活用のための利便施設、管理施設の導入は最小限に止める」とあります。 しかし、 9ページ 階段・柵の検討 13ページ ベンチ・水飲みの検討 15ページ 公園灯の検討 と拝見しますと、最小限の導入とは言い難く、矛盾を感じます。 以下に詳しく意見を述べます。 ⇒各項目のページで記載	
42	12/11	素案全体	山崎・台峯緑地について、市の財源を投資し整備してくださること、たいへん嬉しく思います。 調査や計画へのご尽力にも感謝しております。 良い緑地にしたい、という思いはみな共通だからこそ、丁寧に取り組んでいただきたいと思っております。	
43	12/12	素案全体	今回の基本設計(素案)で、様々な施設・設備の設置が提案されていますが、肝心の眺望広場の眺めをどのように担保し確保するのか、サクラ類を保存するために何をしなければならぬかが明示されていません。そこはしっかり検討し、結果を基本計画の中に書き込むべきだと考えます。 またエリア内には貴重植物の群生地を、どのように守っていくかの方針も書き込む必要があると考えます。 そして提案されている施設、設備については、自然度の高い場所に相応しく、自然素材で造るべきと考えます。	
44	12/12	素案全体	●台峯の周りに住んでいる住民からは、現状、トイレや水道、照明、階段の問題はなく、整備は必要ないと考えている方も多いと聞いています。来訪者のための施設にお金をかける余裕があるのであれば、まずは、台峯の’自然環境’の維持にお金を使うべきだと思います。そこがだめになってしまったら、いくら施設にお金をかけても意味がないです。	
45	12/12	素案全体	●現状、山の管理は、台峯保存会などの住民が行っており、メンバーも高齢者が多く、作業が非常大変と聞いています。鎌倉市の貴重な自然環境なのですから、住民任せではなく、行政が管理の手助けをするべきだと考えます。施設整備にお金を使うのではなく、台峯の自然環境を守るための管理にお金を使うべきだと考えます。だれも管理しなくなるとアズマネザサに覆われ、照葉樹林に変わり、みなさんが愛する台峯の森は暗い森に変わっていきます。	
46	12/12	素案全体	●ヤブツバキが多く生えている場所で、夜間照明を増やすとチャドクガの増加につながります。（伊豆大島のツバキ園で起きている現象です） 温暖化に伴い、チャドクガの発生時期が早まり、発生期間も長くなっております。林内にヤブツバキが自生する台峯で夜間照明を増やすことが良いことなのか？今一度考えていただきたいです。	
47	12/12	素案全体	貴重な税金、市民の安全を第一に、本当に必要となるものに使っていただきたいです。	
48	12/12	素案全体	※フランス語訳 私は鎌倉市台に家族と十数年住んでいますが、これまで引越しせずにいるのは、台峰の自然があるからです。この台峰で娘を育て、また日々歩き、さらに自然保育の仕事もこの地で行っています。 昨今、メディアや政治家がエコロジーについて語っていますが、自然保護とは言葉ではなく、行動であるべきです。 鎌倉市が提案しているプロジェクトは、台峰の動植物を混乱させ、そして現在あるままの台峰を愛し、また自然にそぐわない公園の場に姿を変えられてしまうのを見たくない住人をも混乱させます。 ベンチ、電灯、プラスチックで台峰を人工的にすることは、過去（古い）の考え方であり、将来的な考えではありません。エコロジーとはすべてにおいて、健康、そしてこれからの世代の幸福のために優先されなければならないのです。 台峰をできるだけ自然に保つことは、鎌倉市の観光価値の面においても好ましいことであり、絶えず進行するコンクリートと人工化によって脅かされている自然を人間がまだ観察できる一つの場所にもなるでしょう。 これは、深遠で、ヒューマニストで、エコロジカルな問題です。その点をご理解いただければ幸いです。	

項目		その他（素案全体）		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
49	12/12	素案全体	設備の設置より保存に力を入れてください。	【回答】 ・貴重なご意見として承ります。
50	12/13	素案全体	整備を最小限にすることによって、余った予算は、是非、樹木のために使ってください。私は樹木の専門家ではありませんが、倒れないような補強が必要ならコンクリートなどで補強ではなく、コストが余計にかかっても木材を使って補強してください。コンクリートが木の補強で使われていることがあります、残念な思いになってしまいます。	
51	12/13	素案全体	現在、周辺地域のボランティアによって整備も行われています。自然を残すように手を掛けています。 人工の造作物を新たに設置すると今後のメンテナンスが必要になります。 ここ何年かで新たに設置されたベンチや谷戸池周辺も、作られっぱなしで雑草が生い茂っています。 新たに設置する必要があるものとすれば、谷戸池周りの小道はぬかるんで歩き辛いので、ここだけは木道を設置するとい いと思います。 それ以外は新たな造作物は不要で、むしろ今の自然の形をいかに残して、メンテナンスしていくかだと思います。造作物 設置に予算を割くのではなく、その分、毎年の草刈りや木のメンテに予算を割いて欲しいです。 実際に使用している地域住民の意見をもっと聞いて、現地をよく歩き、よく見て、計画を立て直す必要があると思います	
52	12/13	素案全体	台峰の魅力は、手つかずの（もちろん手入れをしてくださっている方がいらっしゃるのを知っておりますので、実際には「 「のように見える」なのですが）大自然が暮らしの中に存在してくれることだと思います。最低限の安全性は必要です が、利便性は不要だと考えます。	
53	12/13	素案全体	検討頂いている整備内容のような不便さがある意味みなさん楽しみながら、自身で解決しながら台峰での時間を過ごされ ているように感じます。公園化をしてしまうと、美しい景色を写真におさめたり、シートを広げてヨガをしたりといっ た、今ある台峰での過ごし方をしたいと思う気持ちが失われるように思います。	
54	12/13	素案全体	◆『3.1 上位計画の位置付け』について 「自然環境の多様性の維持」とありますが、「山崎・台峯緑地（以下台峯緑地と省略）」はいわゆる「里山」と呼ばれる 二次林を主とした自然環境であり、大前提として「人の手による保全管理（整備）が継続しておこなわれることで維持さ れていく自然環境」です。 今回の基本計画ではそうした『優れた自然環境を守り後世に伝える』を理念として掲げながら、その具体的な方策（計画 や具体的な実施内容）についてはほとんど言及されていません。 実際の運用（維持保全）は基本計画での内容にも影響されます。基本計画とはいえ、今後の維持保全について考慮し、そ れらへの言及も含めた内容とするべきと考えます。 【保全・活用方針】→『市民利用のための活用方針』での『線と点での利用に限定して活用する』については、これまで の台峯緑地の利用が『線と点』だけでは収まらない利用もあるので『線と点での利用に限定』を徹底することは無理があ ります。むしろゾーニングすることで『線と点での利用』だけでない利用も考慮した運用と維持保全管理が現実的かと考 えますが、具体的な改善と方策を望みます。 【保全・活用方針】→『市民利用のための活用方針』での『活用のための利便施設、管理施設の導入は最小限に止める』 については、『最小限に止める』としながら、今回の基本計画では水飲み場や擬木によるテーブルやベンチ等の設置が計 画されています。倒木や維持保全整備で発生した丸太を活用した自然木のベンチ等が既に在るにも関わらず、です。 またテーブルやベンチに採用する予定の擬木について、2024年11月29日の市民説明会でも意見 しましたが、今回の計画で採用を想定しているのはプラスチック製（樹脂製）の擬木ということで、これが将来的に経年 劣化すると近年問題とされ始めているマイクロプラスチックとなる可能性や懸念があると思われるのですが、その予防策や対 処は想定していますか。 そもそも論として、ベンチやテーブルを現状より増やす必要はないと考えますが、もし増設するならば耐用年数が短くて もマイクロプラスチック問題が関係ない自然木を利用したベンチやテーブルが良いと考えます。 『※景観緑地と里山の保全ゾーン』の表記について、『尾根筋の一部の区域において、歴史的な経緯を踏まえ、茅場（カ ヤマ）、畑等の再生を行う。』とありますが、「カヤマ」でなく「カヤバ」の誤表記だと思われます。	
55	12/13	素案全体	都市公園ではなく、自然公園であることを重視し、なるべく手を加えないことを前提として考えなければ、谷戸の池を殺 した轍を踏むだけであることを確り認識して欲しい。 これは木を伐るなどか、教条的で誤った自然保護を主張している訳ではなく、確りとした間伐、枝打ちは実施して欲し い。	
56	12/13	素案全体	「保全・活用方針」に、活用のための利便施設、管理施設の導入は最小限にとどめる。とあり、この点については賛成で す。利便施設は最小限とするとしていますが、今回の計画においては、コストが開示されてません。昨今の報道等でも壁 の問題に絡み、住民税が下がりサービスが低下するとの話がありますが、今まで以上にコストを意識頂きたいと考えま す。必ず予算を開示し、それが妥当か意見を募るべきです。今年度の予算消化ありきではないと思いますが、今後のスケ ジュールについても、詳細を説明頂きたいと考えます。よろしくお願い致します。	【回答】 ・本件の設計内容の予算については、設計内容が確定した後に算出されるも のです。今後のスケジュールについては、「3.10事業スケジュール」のとおり です。

項目		その他（素案全体）		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
57	12/13	素案全体	先日は、「山崎・台峯緑地（都市緑地）基本設計（素案）」のご説明をありがとうございました。 子どもたちも同席でき、子どもたちにとって身近で生活と密着した山である台峰のことを大人たちが真剣に話し合っている姿を見せることができたことはとてもありがたい時間でした。 次世代を担う、もっと多くの子どもたちにも聞いてほしいと思いました。 以下、子どもたちの率直な言葉をお伝えします。 ・今のままがいいです。 ・なるべく何もしないでください。 ・なるべく自然のかたちを残したままがいいです。 ・山の手入れは大事だけど、必要以上に人の手を入れると自然に負担がかかります。 ・プラスチックの階段は、濡れるととても滑って危ないです。 ・動物には、真っ暗な夜が必要です。	【回答】 ・貴重なご意見として承ります。
58	12/13	素案全体	計画全般について ・鎌倉では各地に気軽に遊べる里山がありますが、特に台峰は、地域の大人だけではなく子どもも、自分の遊び場として「いつもあるお山」として親しんでいる場所です。 後世に、ということであれば、なおさら子どもたちの意見も募る場などが必要なのではないのでしょうか。 自然環境、地域コミュニティ、生物多様性、福祉、いろんなことを学ぶのに格好の材料です。崩してしまったものは元には戻せません。	
59	12/13	素案全体	鎌倉の自然の魅力 ・幼児が山を越えて海まで行き、海で遊んでお弁当を食べ、また山を越えて帰ってくる、それを日常として日々楽しめる、そんなことができるのは鎌倉くらいしかありません。 移住者も多いですが、鎌倉で生まれ育った人が子育ての場として鎌倉を選ぶのも他にはない魅力があるからではないのでしょうか？ 昔のままの山の姿は鎌倉の財産です。できるだけ、現状維持を望みます。	
60	11/27	その他	・北鎌倉台峰緑地保全会の発足は2008年となっておりますが、それ以前から地域の住民の手によって、荒廃した里山の保全が行われてきました。まさに「鉾一本」からの活動です。その活動範囲は台峯のほんの一部かもしれませんが、私たちはその思いを大切にしながら、今何が大切なのか、何ができるかを考えながら歩んでゆきたいと思っています。	
61	12/11	その他	⑥その他→以前から感じていること。公園みどり課様への願い 鎌倉市の公園は何か所あるのでしょうか。人々に寄り添う形に整備されてる公園がいくつもあります。しかし、空きスペースをただ確保しているだけの名ばかりの公園もあります。石がゴロゴロしていて、小さい子を遊ばせられない場所。憩いの場所としての配慮が見られない場所。俗に言う『なんちゃって公園』そんな人の来ない小さい公園を見かけ、鎌倉市は市内の公園をわけへだてなく、より良いものへと考えてくれるのだろうか、そんなの無理で諦めるしかないのだろうか。 と常々感じていた次第です。 みどりの保全は何より必要なことと思います。維持管理も大変だと思います。 それとともに、心やすらげる場所、楽しい場所としての公園の位置付けも大事になってくるのではないのでしょうか。 鎌倉の全ての公園が素敵なお場所になったら良いなと願っています。（公園巡りも楽しめるような…）	

項目		説明会		
No	受領日	詳細項目	意見・要望等（意見書は原文ママ）	回答
1	11/30	スケジュール	昨日の説明会でも意見がでていましたが、1月に案を公開、3月には決定案というタイムスケジュールは大変気にかかるところです。 昨日の意見にきちんと向き合っていたけるとしたら、 水飲み場などいくつかの項目の設置自体の再検討、 グラウンド使用状況の確認、 ベンチの素材と形状の再検討、 擬木とマイクロプラスチックとの関係調査、擬木と自然木がそれぞれメンテナンスの期間のみならず長期的な環境に与える影響の比較検討、 公園灯のあり方の検討、他地域での公園灯の扱いの確認、 フクロウの生息地の調査、サクラ以外の樹木の再調査 などなどお示しになられたスケジュールでは時間が足りないように素朴に思います。 これに関しては質問者への水谷さんからの返答にありましたように、「スケジュールについてはスケジュールありきではなく柔軟に対応していく」ということで、市民の疑問、意見にしっかり向き合っていただきますよう、よろしくお願いします。	【回答】 ・令和6年度の基本設計の策定については、基本計画に基づき、施設整備の概略設計を行うものです。施設の構造、デザイン等の詳細については、令和7年度に実施予定の実施設計で引き続き検討を進めます。 ・その他維持管理の詳細についても、実施設計の策定と併せてボランティア団体と協議しながら、供用開始までに整理します。 ・次回説明会の告知範囲、告知方法について、告知範囲はボランティア団体、自治町内会、近隣学校関係とし、告知方法はホームページ、X、LINE等での周知に合わせて関係機関には直接チラシを配布する等を想定しています。
2	12/1	スケジュール	今回、住民側からいろいろと意見が出てくると思います。ある程度地域住民や保全のボランティアの方の意見を尊重して進めていただきたいです。 1月に最終案を出して、3月に確定というのは拙速すぎます。 2か月に一回ぐらい説明会を開きながら、1年ぐらいかけて進めていただきたいです。 また、保全団体が入っている場所や地域住民が立ち入っている場所については、計画を立てる前に地域住民や保全団体の意見を聞いて、計画案を作成し、進めていただければと思います。	
3	12/3	スケジュール	【素案全体についての質問】 2． 本案作成までのプロセスが今回の説明会で示された日程通りで対処できるかお答えください。 3． 次回説説明会に対する、告知範囲、告知方法をお答えください。	
4	12/3	スケジュール	2． 今回の説明会では、市民からの意見募集が12月13日まで。 その後1月には再度説明会を開催し、3月には本案作成となっていたと記憶しています。 今回の説明会で出た多くの意見及び質問を集約し、その根拠を明らかにすること、さらにリサーチが必要な項目もありました。このような作業と共に、市民からの意見を集約し次回説明会を開催。となると思いますが、その場で意見がまとまるのか不透明に感じました。 さらに3月本案提出は可能なのでしょうか？ 市の予算は市民の財産でもあります。拙速な提案、なし崩しの施行がないようお願いいたします。	
5	12/3	説明会の通知方法	3． 今回の説明会には保全会や自然環境に携わっている方々、地域住民、地域町内会、保育関係者、学校教員、小学生連れの家族など多くの方々約50名が集まっていたと思います。それは今回の計画に対する関心が強いものだと感じました。 ただ、気になったのはこの説明会に対する情報は地域や知人からの口コミが殆どでした。 今回の発言者においては、80歳を超える方から、高校生まで多くの方の意見を聞くことができました。 “山崎・台峯緑地の優れた自然環境を守り後世に伝える” ということであれば、次回は関連する町内会、学校、子ども関係の団体などにも呼びかけていただき、そこで息づく方々からの声も聴いていただきたいと願います。 市のホームページを自ら覗けば情報を得ることは可能だと思いますが、関係先への通知方法も考慮していただきたい事柄です。	
6	12/5	説明会	今回、台峰に関係している人たちに対して「説明会」を開いてくださった事は大変良いことだと思いますが、まだ話を聞いてもらった方が良い方（山崎小学校・近隣町内会・古くから台峰を利用してきた地元の人たち）はたくさんいらっしゃると思います。市側のタイムスケジュールを公表して下さっていましたが、あれで進めてしまっは様々な禍根を残してしまう危険性があると感じました。 台峰の管理は市だけではなく地元や関係団体の協力が必要であるとお話されていましたが「その協力を得るために」より丁寧慎重に事を進めて行ってもらいたいと思いました。	
7	12/12	説明会	○「山崎・台峯緑地（都市緑地）基本設計の立案に専門知識のある人材を招致して建設的な話し合いの場を設定していただきたい。 例えば生物多様性を保ち、より豊かにするために ①現にこの地域の自然観察を続けて、より良い保全に努めている人 ②3大緑地として保全した鎌倉市のスタッフ ③保全になった後、手入れとして20年余り、この地の健康を保とうと努めた人 ④その後、実際に緑地の管理に当たっているスタッフ これら人達が参加して建設的な、ワクワクするような話し合いが行われることを望みます。	